彩の国
埼玉県

埼玉県 専門研修 プログラムガイドブック 2025

Saitama Prefecture
SPECIALIZED TRAINING
PROGRAM GUIDE BOOK

専門研修
基幹病院
43施設
掲載!

埼玉県の医師の現状

埼玉県総合医局機構 KOBATON.med

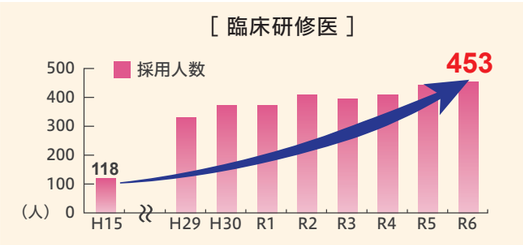
コバトンドットメド 検索

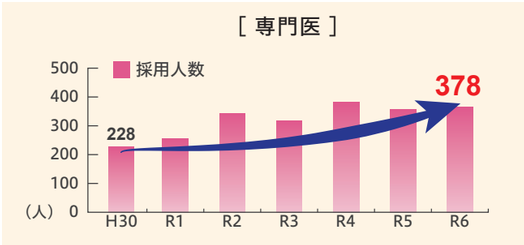
埼玉県では、埼玉県医師会、県内医療機関、大学などと協力して、平成25年に「埼玉県総合医局機構」（次頁参照）を創設し、医師の確保・派遣やキャリアステージに応じた医師支援を通じて、県内全域の医療水準の向上に取り組んでいます。

これらの取組の結果、

医師数は、令和4年12月31日時点	医師の増加数は、過去10年間（平成24年から令和4年）で	医師の増加率は、過去１０年間（平成24年から令和4年）で
13,244人（全国7位）	**2,536人増（全国5位）**	**23.7%増加（全国1位）**

となっており、中でも臨床研修医・専攻医は以下の通り年々増加傾向にあります。





臨床研修制度開始以来、採用人数は平成15年度の118人から令和6年度には453人に増加し、平成15年度比では3.84倍で**全国1位です！**　（厚生労働省公表値参照）

新専門医制度開始以来、採用人数は平成30年度の228人から令和6年度には378人（全国8位）に増加し、平成30年度比では**1.66倍**となっています。　（日本専門医機構掲載資料参照）

埼玉県総合医局機構の取組

埼玉県総合医局機構とは？

埼玉県総合医局機構は、医師の確保や地域偏在・診療科偏在の解消などに取り組むコントロールタワーとして、医師確保対策を一元的に実施しています。

医療の確保・派遣 ／ 埼玉県総合医局機構の取組の中核（二本柱） ／ 医療の支援

主な役割

- □ 医師不足状況の把握・分析
- □ 医師確保に係る総合的な企画
- □ 医師不足病院への支援
- □ 医師のキャリア形成支援
- □ 地域医療関係機関との協力関係の構築
- □ 医師確保に関係する情報発信と、医師や医師を目指す方々からの相談への対応

専攻医向け研修資金貸与事業

産科、小児科、救急医療に係る専門研修を受講される研修医の皆さんには、月額20万円まで、資金貸与が可能です！（選考あり）

貸与 ▶ 県内勤務 ▶ 返還免除

対象者	埼玉県内の周産期母子医療センターまたは救命救急センターにおいて、産科、小児科、救急医療に係る後期研修を受講している研修医
募集人数	11名（令和6年度）
貸与金額	月額20万円以内　貸与期間　3年以内
返還免除条件	埼玉県内の病院の産科、小児科または救命救急センターで貸与期間の1.5倍の期間勤務すること

専門研修に関する特設WEBサイト

埼玉県専門研修プログラム Navi

特設WEBサイトを構築し、県内の専門研修プログラムごとの特徴や本県で研修を受講する魅力を効果的にPRすることで、専攻医の確保・定着を図っていきます。

ここまでやるのは全国初

埼玉県出身
日本初の女性医師
萩野 吟子

埼玉県では、県内の医療機関で専門研修を受講していただくことを具体的にイメージできるよう特設WEBサイトを開設しました！
ぜひ埼玉県で専門研修を受講してみませんか。

右記のURLまたは二次元コードからご覧ください。　https://saisen-navi.jp/

県内の医師のスキルアップサポート

地域医療教育センターは、県内医療機関に勤務されている医療従事者の方向けの教育・研修施設（利用料は原則無料）です。

各種シミュレータを用い、実際の病室を模した仮想病室や診察室で、実際の診療さながらの研修を行うことができます。また、カンファレンス室やディブリーフィング室も完備し、幅広い教育・研修ニーズにお応えします。

基本的な医療手技の習得

●吸引、採血、縫合といった基本的な医療手技の練習が可能
●超音波診断、呼吸音聴取、フィジカルアセスメントなどの身体診療のトレーニング用シミュレータも整備

高規格シミュレータを使った救命・蘇生トレーニング

●さまざまな状況を再現できるシミュレータを用い、リアリティのあるトレーニングを積むことができます。
●乳児、小児、成人のほか分娩介助用の高規格シミュレータも用意しています。

埼玉県の女性医師を応援します！

就業や復職に関する相談、育児や介護支援の情報提供など女性医師の相談・支援窓口として、「埼玉県女性医師支援センター」を運営しております。

ご相談の内容やご希望に応じて、子育て経験のある現役の女性医師が、Eメールや電話などでお答えします。お気軽にご連絡ください。

＼ 詳しくはこちらから！ ／

埼玉県 女性医師 検索

☎ 048-815-7115
（月～金曜日　AM9:00-PM5:00　※祝日、年末年始を除く）

✉ info@saitama-joi.jp

埼玉県女性医師支援センター
〒330-0062
さいたま市浦和区仲町3-5-1　埼玉県県民健康センター5階（埼玉県医師会内）

基幹施設一覧

二次医療圏	掲載順	基幹施設名	臨床研修病院	特定労務管理対象機関指定	内科	小児科	皮膚科	精神科	外科	整形外科	産婦人科	眼科	耳鼻咽喉科	泌尿器科	脳神経外科	放射線科	麻酔科	病理	臨床検査	救急科	形成外科	リハビリ	総合診療科	合計
南部	1	埼玉県済生会川口総合病院	○	○	●	●				●							●							4
	2	埼玉協同病院	○	○	●																		●	2
	3	川口市立医療センター	○	○	●	●				●							●			●				5
	4	戸田中央総合病院	○		●					●							●	●						4
	5	さいわい診療所																					●	1
南西部	6	TMGあさか医療センター	○	○													●							1
	7	国立病院機構埼玉病院	○	○	●	●			●			●					●			●		●	●	8
	8	イムス富士見総合病院				●																		1
	9	新座志木中央総合病院	○		●					●														2
東部	10	春日部市立医療センター	○		●																			1
	11	順天堂大学医学部附属順天堂越谷病院		○				●																1
	12	南埼玉病院						●																1
	13	獨協医科大学埼玉医療センター	○	○	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		●	●	18
	14	みさと健和病院	○		●																		●	2
	15	草加市立病院	○		●																			1
	16	春日部中央総合病院	○		●																			1
	17	秀和総合病院	○		●																			1
	18	北辰病院						●																1
さいたま	19	自治医科大学附属さいたま医療センター	○	○	●	●	●		●		●	●	●	●		●	●	●		●	●		●	14
	20	さいたま市立病院	○	○	●	●			●								●			●				5
	21	彩の国東大宮メディカルセンター	○		●																			1
	22	さいたま赤十字病院	○	○	●				●		●						●			●				5
	23	浦和神経サナトリウム						●																1
	24	大宮厚生病院						●																1
	25	さいたま市民医療センター	○	○	●	●																	●	3
	26	埼玉県立小児医療センター		○		●																		1
	27	埼玉メディカルセンター	○		●					●											●			3
県央	28	上尾中央総合病院	○	○	●				●	●			●	●			●						●	7
	29	北里大学メディカルセンター	○	○	●					●				●			●							4
	30	埼玉県立精神医療センター						●																1
	31	埼玉県済生会鴻巣病院						●																1
川越比企	32	埼玉医科大学総合医療センター	○	○	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		●	●		●	●	●		16
	33	関越病院	○																				●	1
	34	埼玉医科大学病院	○	○	●	●	●	●		●	●	●	●	●			●	●	●	●	●	●	●	16
西部	35	埼玉石心会病院	○	○	●				●											●			●	4
	36	埼玉医科大学国際医療センター	○	○	●				●						●	●	●	●		●				7
利根	37	久喜すずのき病院						●																1
	38	羽生総合病院	○						●														●	2
	39	新久喜総合病院	○	○	●				●															2
	40	埼玉県済生会加須病院	○	○	●					●										●				3
北部	41	深谷赤十字病院	○	○	●															●			●	3
	42	熊谷生協病院																					●	1
秩父	43	秩父市立病院																					●	1
合計			30	21	27	11	4	11	11	11	5	5	5	6	3	3	14	6	2	12	4	4	15	159

内　科

※掲載しているデータは2024年9月に収集したものです。データを開示しない項目には、「—」と表示しています。
※Mapは、裏表紙をご参照ください。Map上に番号で各病院の所在地を示しています。
※患者数は、当科の患者数を記載しています。

Map❶／南部　埼玉県済生会川口総合病院内科専門研修プログラム

【埼玉県済生会川口総合病院】

当科病床数	研修期間	連携施設数	医師数	指導医数	募集定員	入職実績（'22~'24実績）	入局
142床	3年	6施設	39名	14名	5名	4名	—

サブスペ：消化器病、循環器、呼吸器、内分泌代謝科、糖尿病、腎臓、肝臓、消化器内視鏡

連携施設：獨協医科大学埼玉医療センター、自治医科大学附属さいたま医療センター、東京女子医科大学附属病院、順天堂大学附属順天堂医院、国立病院機構東埼玉病院、帝京大学医学部附属病院

埼玉県南部医療圏の中心的な急性期病院です。埼玉県内および近隣医療圏にある大学病院と連携し、地域医療からより専門的な内科診療まで、多様な希望に対応した研修が行えます。自分で未来を選択できる病院です。

年収・月収例　専攻医1年目：約676万／年
外来患者数　352人／日　入院患者数　103人／日

Map❷／南部　埼玉協同病院内科専門研修プログラム

【埼玉協同病院】

当科病床数	研修期間	連携施設数	医師数	指導医数	募集定員	入職実績（'22~'24実績）	入局
168床	3年	6施設	25名	9名	5名	7名	—

サブスペ：消化器病、糖尿病、消化器内視鏡

連携施設：埼玉西協同病院、熊谷生協病院、埼玉石心会病院 等

当プログラムは「人権をまもり、健康なくらしに役立つ医療を地域とともにつくります」という病院理念を基本とし、地域医療の最前線でいかなる患者にも対応できる総合力を身につけ、地域住民や近隣の医療機関・福祉機関と連携し、いつでも誰にでも安全安心な医療の実現に寄与する内科医師を養成します。

年収・月収例　専攻医1年目：約45万／月（別途諸手当）
外来患者数　142人／日　入院患者数　112人／日

Map❸／南部　川口市立医療センター内科専門研修プログラム

【川口市立医療センター】

当科病床数	研修期間	連携施設数	医師数	指導医数	募集定員	入職実績（'22~'24実績）	入局
118床	3年	3施設	25名	6名	5名	1名	—

サブスペ：消化器病、循環器、呼吸器、糖尿病、腎臓、肝臓、アレルギー、感染症、神経内科、消化器内視鏡

連携施設：日本大学医学部附属板橋病院、東京慈恵会医科大学附属病院 等

当院は埼玉県南部医療圏の中心的な急性期病院であるとともに、地域の病診・病病連携の中核です。また、common diseaseの経験や超高齢化社会を反映し複数の病態を持った患者の診療も十分に経験できます。

年収・月収例　—
外来患者数　240.7人／日　入院患者数　130.3人／日

Map❹／南部　戸田中央総合病院内科専門研修プログラム

【戸田中央総合病院】

当科病床数	研修期間	連携施設数	医師数	指導医数	募集定員	入職実績（'22~'24実績）	入局
256床	3年	12施設	42名	16名	5名	4名	—

サブスペ：消化器病、循環器、呼吸器、糖尿病、腎臓、肝臓、アレルギー、感染症、神経内科、消化器内視鏡

連携施設：東京医科大学病院、東京女子医科大学病院 等

1都4県に29病院を含む119施設を展開する戸田中央メディカルケアグループの基幹病院であり、多くの症例が集まる研修に大変適した病院です。また地域医療支援病院、地域がん診療連携拠点病院、災害拠点病院等多くの認定も受けています。

年収・月収例　専攻医1年目：約900万／年
外来患者数　301人／日　入院患者数　173人／日

Map❼／南西部　国立病院機構埼玉病院内科専門研修プログラム

【国立病院機構埼玉病院】

当科病床数	研修期間	連携施設数	医師数	指導医数	募集定員	入職実績（'22~'24実績）	入局
145床	3年	14施設	38名	21名	7名	3名	自由

サブスペ：消化器病、循環器、腎臓、肝臓、神経内科、消化器内視鏡、がん薬物療法

連携施設：慶應義塾大学病院、さいたま市立病院 等

多彩な施設（大学病院、地域の基幹医療施設、ケアミックス病院）と連携し、専攻医の将来の進路希望に応じた研修が可能です。内科全般はもちろん、サブスペシャリティの並行研修にも力を入れています。

年収・月収例　専攻医1年目：47.6万／月
外来患者数　205人／日　入院患者数　92人／日

Map❾／南西部　新座志木中央総合病院内科専攻医プログラム

【新座志木中央総合病院】

当科病床数	研修期間	連携施設数	医師数	指導医数	募集定員	入職実績（'22~'24実績）	入局
190床	3年	3施設	21名	6名	3名	1名	—

サブスペ：消化器病、循環器、糖尿病、腎臓、消化器内視鏡

連携施設：東京医科大学病院、戸田中央総合病院、TMGあさか医療センター

将来の専門領域やキャリアパスの展望を踏まえ、内科専門医としての資格要件を満たすことを最優先とし、個々の専攻医のニーズに即した研修が可能となるように、ローテーションを設計しています。

年収・月収例　専攻医1年目：850万／年
外来患者数　157人／日　入院患者数　88人／日

Map❿／東部　春日部市立医療センター内科専門研修プログラム

【春日部市立医療センター】

当科病床数	研修期間	連携施設数	医師数	指導医数	募集定員	入職実績（'22~'24実績）	入局
121床	3年	4施設	24名	15名	3名	—	—

サブスペ：消化器病、循環器、呼吸器、血液、神経内科、消化器内視鏡、がん薬物療法

連携施設：—

症例をある時点で経験するだけではなく、主担当医として入院から退院（初診・入院～退院・通院）まで経時的に全人的医療を実践し、個々の患者に最適な医療を提供する計画を立てて実行する能力を修得します。

年収・月収例　専攻医1年目：約50万／月
外来患者数　200人／日　入院患者数　131人／日

Map⓭／東部　獨協医科大学埼玉医療センター内科専門研修プログラム

【獨協医科大学埼玉医療センター】

当科病床数	研修期間	連携施設数	医師数	指導医数	募集定員	入職実績（'22~'24実績）	入局
263床	3年	45施設	110名	45名	29名	36名	要

サブスペ：消化器病、循環器、呼吸器、血液、内分泌代謝科、糖尿病、腎臓、肝臓、アレルギー、神経内科、リウマチ、消化器内視鏡、がん薬物療法

連携施設：東埼玉総合病院、済生会川口総合病院、済生会加須病院、春日部厚生病院、群馬県立心臓血管センター、三郷中央総合病院、さいたま岩槻病院 等

当院は首都圏の良好な立地にあり、928床の基幹病院のため症例が豊富である。最先端専門施設から療養型施設まで多くの関連施設を持ち、各内科の全領域においてスムーズで充実した研修が可能である。

年収・月収例　—
外来患者数　796人／日　入院患者数　280人／日

Map⓮／東部　みさと健和病院内科専門研修プログラム

【みさと健和病院】

当科病床数	研修期間	連携施設数	医師数	指導医数	募集定員	入職実績（'22~'24実績）	入局
105床	3年	12施設	21名	6名	3名	7名	不要

サブスペ：消化器病、呼吸器、内分泌代謝科、糖尿病、腎臓、消化器内視鏡

連携施設：東葛病院・立川相互病院・大田病院・柳原病院 等

当院は急性期と回復期・慢性期の病棟を併せ持つケアミックス型病院です。主治医として入院～退院・通院まで、診断や治療を通じ、患者さんの全身状態、社会的背景、療養環境調整をも包括する全人的医療を実践します。

年収・月収例　専攻医1年目：856万／年
外来患者数　43人／日　入院患者数　92人／日

Map⓯／東部　草加市立病院内科専門研修プログラム

【草加市立病院】

当科病床数	研修期間	連携施設数	医師数	指導医数	募集定員	入職実績（'22~'24実績）	入局
196床	3年	14施設	37名	16名	4名	4名	—

サブスペ：消化器病、循環器、呼吸器、血液、内分泌代謝科、糖尿病、腎臓、リウマチ

連携施設：東京医科歯科大学病院 等

当院は埼玉県東部医療圏の中心的な急性期病院であり、一人の医師が急性期から慢性期まで幅広い疾病群を数多く経験できます。知識や技能に偏らず全人的な医療を実践できる能力を持つ内科専攻医を育成します。

年収・月収例　専攻医1年目：1,000万／年
外来患者数　349.4人／日　入院患者数　139.7人／日

Map⓰／東部　春日部中央総合病院内科研修プログラム

【春日部中央総合病院】

当科病床数	研修期間	連携施設数	医師数	指導医数	募集定員	入職実績（'22~'24実績）	入局
80床	3年	8施設	18名	9名	3名	3名	不要

サブスペ：消化器病、循環器、腎臓、消化器内視鏡

連携施設：板橋中央総合病院、新松戸中央総合病院 等

埼玉県春日部市に在る救急医療を中心とし、地域医療を担う春日部中央総合病院を基幹とした研修プログラムである。当プログラムは東日本最大の医療・介護を提供する総合医療・福祉グループ「IMSグループ」の各施設を中心に、その地域の医療に貢献できる医師を育成することを目的としている。※入職する場合は事前見学必須になります。

年収・月収例　専攻医3年目：700万／年
外来患者数　500人／日　入院患者数　350人／日

Map⓱／東部　秀和総合病院内科専門研修プログラム

【秀和総合病院】

当科病床数	研修期間	連携施設数	医師数	指導医数	募集定員	入職実績（'22~'24実績）	入局
150床	3年	3施設	25名	17名	3名	4名	自由

サブスペ：消化器病、循環器、呼吸器、内分泌代謝科、糖尿病、腎臓、肝臓、神経内科、リウマチ、がん薬物療法

連携施設：東京医科歯科大学病院、草加市立病院、JAとりで総合医療センター

内科医としてのプロフェッショナリズムの涵養とGeneralなマインドを持ち、それぞれのキャリア形成やライフステージ、同時に兼ねることも可能な人材を育成します。

年収・月収例　専攻医3年目：1,056万／年
外来患者数　359人／日　入院患者数　212人／日

Map⓲／さいたま　自治医科大学附属さいたま医療センター内科専門研修プログラム

【自治医科大学附属さいたま医療センター】

当科病床数	研修期間	連携施設数	医師数	指導医数	募集定員	入職実績（'22~'24実績）	入局
143床	3～4年	45施設	100名	55名	22名	48名	要

サブスペ：消化器病、循環器、呼吸器、血液、内分泌代謝科、糖尿病、腎臓、肝臓、感染症、老年科、神経内科、リウマチ、消化器内視鏡

連携施設：さいたま市民医療センター、南魚沼市民病院、共済病院 等

診療科横断的な教育プログラムや救急部、地域連携病院へのローテートにより、内科医としての総合力を育成するプログラムになっています。同時に、その他の期間でサブスペ領域の経験を存分に積むことができます。

年収・月収例　専攻医1年目：約34万／月＋時間外手当＋賞与 約132万／年
外来患者数　570.4人／日　入院患者数　185.6人／日

Map⓴／さいたま　さいたま市立病院内科専門研修プログラム

【さいたま市立病院】

当科病床数	研修期間	連携施設数	医師数	指導医数	募集定員	入職実績（'22~'24実績）	入局
268床	3年	13施設	50名	25名	13名	17名	—

サブスペ：消化器病、循環器、呼吸器、血液、内分泌代謝科、糖尿病、腎臓、肝臓、感染症、老年科、神経内科、消化器内視鏡、がん薬物療法

連携施設：慶應義塾大学病院、さいたま赤十字病院、東京都済生会中央病院 等

1年目に各サブスペシャルティを2か月単位でローテートします。症例豊富なため経験すべき症例のほぼすべてを習得できます。2年目以降は希望によりサブスペシャルティ研修とオーバーラップしていくことが可能です。

年収・月収例　専攻医1年目：約61万／月　別途賞与、諸手当支給あり
外来患者数　333人／日　入院患者数　203人／日

Map㉑／さいたま　彩の国東大宮メディカルセンター内科専門研修プログラム

【彩の国東大宮メディカルセンター】

当科病床数	研修期間	連携施設数	医師数	指導医数	募集定員	入職実績（'22~'24実績）	入局
164床	3年	6施設	21名	16名	4名	—	不要

サブスペ：消化器病、循環器、呼吸器、血液、内分泌代謝科、腎臓、リウマチ、消化器内視鏡

連携施設：自治医科大学附属さいたま医療センター、さいたま赤十字病院、JCHO埼玉メディカルセンター、東京女子医科大学附属足立医療センター、西埼玉中央病院、埼玉県立がんセンター

埼玉県さいたま医療圏および東京都による連携施設で構成されています。内科診療における基本的な診療能力を身につけ、サブスペシャルティを学ぶ基礎となる内科領域全般にわたる幅広い診療の習得を目的とします。

年収・月収例　専攻医1年目：792万／年
外来患者数　192人／日　入院患者数　一人／日

Map㉒／さいたま　さいたま赤十字病院内科専門研修プログラム

【さいたま赤十字病院】

当科病床数	研修期間	連携施設数	医師数	指導医数	募集定員	入職実績（'22~'24実績）	入局
224床	3年	22施設	72名	34名	8名	13名	不要

サブスペ：消化器病／循環器／呼吸器／血液／内分泌代謝科／糖尿病／腎臓／肝臓／アレルギー／感染症／老年科／神経内科／リウマチ／消化器内視鏡／がん薬物療法

連携施設　原町赤十字病院、小川赤十字病院、彩の国東大宮メディカルセンター 等

数多くのサブスペシャリティ領域があり将来を見据えて研修をすることが可能です。在籍する専攻医が多いため研修に関する相談がしやすく、また34名の指導医がいるため内科全体で研修をサポートできる環境です。

年収・月収例　HP参照

外来患者数　602.4人／日　入院患者数　247人／日

Map㉕／さいたま　さいたま市民医療センター内科専門研修プログラム

【さいたま市民医療センター】

当科病床数	研修期間	連携施設数	医師数	指導医数	募集定員	入職実績（'22~'24実績）	入局
188床	3年	4施設	31名	4名	3名	1名	—

サブスペ：消化器病／循環器／呼吸器／血液／内分泌代謝科／糖尿病／腎臓／肝臓／アレルギー／感染症／老年科／神経内科／リウマチ／消化器内視鏡／がん薬物療法

連携施設　自治医科大学附属さいたま医療センター、さいたま赤十字病院、さいたま市立病院、埼玉メディカルセンター

専門診療と総合診療を両立し、内科2次急性期診療を主軸とした地域から求められる医療を提供します。希望する専門診療とハイブリッド型研修で、二刀流の内科専門医を目指すことも可能です。

年収・月収例　専攻医1年目：770万／年

外来患者数　151人／日　入院患者数　162人／日

Map㉗／さいたま　埼玉メディカルセンター内科専門研修プログラム

【埼玉メディカルセンター】

当科病床数	研修期間	連携施設数	医師数	指導医数	募集定員	入職実績（'22~'24実績）	入局
180床	3年	15施設	42名	16名	6名	30名	自由

サブスペ：消化器病／循環器／呼吸器／血液／内分泌代謝科／糖尿病／腎臓／肝臓／アレルギー／感染症／老年科／神経内科／リウマチ／消化器内視鏡／がん薬物療法

連携施設　慶應義塾大学病院、自治医科大学附属さいたま医療センター 等

内科全般の症例、一般の手技はほぼ経験でき、地域医療の重要性や血液疾患、総合内科、救急科なども学べる。高度専門病院を選択し研修することもでき、地域の実情に合わせた実践的な医療も行えるように訓練される。

年収・月収例　専攻医3年目：約830万／年

外来患者数　351人／日　入院患者数　180人／日

Map㉘／県央　AMG上尾中央総合病院内科専門研修プログラム

【上尾中央総合病院】

当科病床数	研修期間	連携施設数	医師数	指導医数	募集定員	入職実績（'22~'24実績）	入局
246床	3年	18施設	79名	28名	6名	9名	不要

サブスペ：消化器病／循環器／呼吸器／血液／内分泌代謝科／糖尿病／腎臓／肝臓／アレルギー／感染症／老年科／神経内科／リウマチ／消化器内視鏡／がん薬物療法

連携施設　18施設あり。詳細はホームページをご確認ください。

各領域の専門医の熱心な指導と連携施設の協力で、中身の濃い専門研修を提供し、幅広い疾患に対応できる総合内科的視点を持った診断能力の高い医師の養成を目指しています。

年収・月収例　1年目：66万／月※別途当直手当・時間外手当

外来患者数　450人／日　入院患者数　146人／日

Map㉙／県央　北里大学メディカルセンター内科専門研修プログラム

【北里大学メディカルセンター】

当科病床数	研修期間	連携施設数	医師数	指導医数	募集定員	入職実績（'22~'24実績）	入局
108床	3年	2施設	25名	12名	5名	2名	自由

サブスペ：消化器病／循環器／呼吸器／血液／内分泌代謝科／糖尿病／腎臓／肝臓／アレルギー／感染症／老年科／神経内科／リウマチ／消化器内視鏡／がん薬物療法

連携施設　北里大学病院、さいたま市立病院

地域の中核病院としてcommon diseaseの経験はもちろん、超高齢社会を反映し複数の病態を持った患者の診療経験もでき、大学の附属病院としての先端医療も学ぶことができます。

年収・月収例　—

外来患者数　254.1人／日　入院患者数　82人／日

Map㉜／川越比企　埼玉医科大学総合医療センター内科専門研修プログラム

【埼玉医科大学総合医療センター】

当科病床数	研修期間	連携施設数	医師数	指導医数	募集定員	入職実績（'22~'24実績）	入局
276床	3年	—	115名	42名	20名	36名	要

サブスペ：消化器病／循環器／呼吸器／血液／内分泌代謝科／糖尿病／腎臓／肝臓／アレルギー／感染症／老年科／神経内科／リウマチ／消化器内視鏡／がん薬物療法

連携施設　—

十分な指導体制と親身なサポート体制のもとで内科領域全般の研修ができます。大学病院と地域密着型の病院としての機能を併せ持ち、先進医療からcommon diseaseまで様々な症例を経験することが可能です。

年収・月収例　—

外来患者数　—人／日　入院患者数　—人／日

Map㉞／川越比企　埼玉医科大学病院内科専門医研修プログラム

【埼玉医科大学病院】

当科病床数	研修期間	連携施設数	医師数	指導医数	募集定員	入職実績（'22~'24実績）	入局
299床	3年	20施設	125名	89名	20名	29名	自由

サブスペ：消化器病／循環器／呼吸器／血液／内分泌代謝科／糖尿病／腎臓／肝臓／アレルギー／感染症／老年科／神経内科／リウマチ／消化器内視鏡／がん薬物療法

連携施設　HP参照

総合診療内科、さらに多数のサブスペシャリティ領域の診療科と連携し、極めて自由度の高いプログラムです。多くの関連施設と連携をとっており、多数の疾患を経験する機会があります。ぜひ一度見学に来てください。

年収・月収例　—

外来患者数　652人／日　入院患者数　259人／日

Map㉟／西部　埼玉石心会病院内科専門研修プログラム

【埼玉石心会病院】

当科病床数	研修期間	連携施設数	医師数	指導医数	募集定員	入職実績（'22~'24実績）	入局
148床	3年	8施設	25名	11名	4名	7名	—

サブスペ：消化器病／循環器／呼吸器／血液／内分泌代謝科／糖尿病／腎臓／肝臓／アレルギー／感染症／老年科／神経内科／リウマチ／消化器内視鏡／がん薬物療法

連携施設　川崎幸病院、埼玉医科大学総合医療センター、埼玉医科大学国際医療センター、東京大学医学部附属病院、埼玉協同病院、知床らうす国民健康保険診療所、宮古島徳洲会病院、新久喜総合病院

当院は埼玉県西部医療圏の中心的な急性期病院であるとともに、地域の病診・病病連携の中核です。一方で、地域に根ざす第一線の病院でもあり、コモンディジーズはもちろん、超高齢社会を反映し複数の病態を持った患者の診療経験もでき、高次病院や地域病院との病病連携や診療所との病診連携も経験できます。

年収・月収例　専攻医1年目：832万／年

外来患者数　64人／日　入院患者数　135人／日

Map㊱／西部　埼玉医科大学国際医療センター内科専門医研修プログラム

【埼玉医科大学国際医療センター】

当科病床数	研修期間	連携施設数	医師数	指導医数	募集定員	入職実績（'22~'24実績）	入局
293床	3年	26施設	70名	52名	12名	8名	推奨

サブスペ：消化器病／循環器／呼吸器／血液／内分泌代謝科／糖尿病／腎臓／肝臓／アレルギー／感染症／老年科／神経内科／リウマチ／消化器内視鏡／がん薬物療法

連携施設　埼玉医科大学病院、埼玉医科大学総合医療センター、戸田中央総合病院 等

内科専門医研修に加え、心臓や脳、悪性腫瘍の分野で専門性の高いsubspecialty研修を準備しています。県内のみではなく、都内医療機関が連携施設に含まれ、希望する医療機関を新規に連携施設にできます。

年収・月収例　—

外来患者数　264.1人／日　入院患者数　248.8人／日

Map㊴／利根　新久喜総合病院内科専門研修プログラム

【新久喜総合病院】

当科病床数	研修期間	連携施設数	医師数	指導医数	募集定員	入職実績（'22~'24実績）	入局
100床	3年	12施設	24名	8名	5名	6名	不要

サブスペ：消化器病／循環器／呼吸器／血液／内分泌代謝科／糖尿病／腎臓／肝臓／アレルギー／感染症／老年科／神経内科／リウマチ／消化器内視鏡／がん薬物療法

連携施設　—

- 専攻医に合わせた研修内容。（総合コース・循環器コース・消化器コースなど）
- 症例数が豊富で専門性が高い疾患から一般的な症例まで経験可能。

年収・月収例　900万～1,100万／年

外来患者数　150.9人／日　入院患者数　96.5人／日

Map㊵／利根　埼玉県済生会加須病院内科専門医研修プログラム

【埼玉県済生会加須病院】

当科病床数	研修期間	連携施設数	医師数	指導医数	募集定員	入職実績（'22~'24実績）	入局
144床	3年	6施設	37名	9名	5名	1名	不要

サブスペ：消化器病／循環器／呼吸器／血液／内分泌代謝科／糖尿病／腎臓／肝臓／アレルギー／感染症／老年科／神経内科／リウマチ／消化器内視鏡／がん薬物療法

連携施設　埼玉医科大学総合医療センター、深谷赤十字病院、多摩総合医療センター 等

当院は、豊富な症例に基づいて各サブスペシャルティ領域の研修ができることはもちろん、超高齢社会を反映し複数の病態を持った患者の診療も経験できます。

年収・月収例　専攻医3年目：900万／年

外来患者数　204人／日　入院患者数　147人／日

Map㊶／北部　深谷赤十字病院内科専門研修プログラム

【深谷赤十字病院】

当科病床数	研修期間	連携施設数	医師数	指導医数	募集定員	入職実績（'22~'24実績）	入局
181床	3年	11施設	34名	14名	3名	3名	自由

サブスペ：消化器病／循環器／呼吸器／血液／内分泌代謝科／糖尿病／腎臓／肝臓／アレルギー／感染症／老年科／神経内科／リウマチ／消化器内視鏡／がん薬物療法

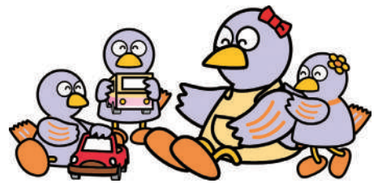
連携施設　群馬大学病院、前橋赤十字病院、埼玉医科大学総合医療センター、東京医科大学八王子医療センター、埼玉医科大学病院、小川赤十字病院、熊谷総合病院、埼玉県立循環器呼吸器病センター、秩父市立病院

埼玉県北部に位置し、28の診療科・三次救命救急病院・地域基幹病院として幅広い疾患を経験できます。他科や多職種と連携して多様な症例を安全かつ的確に提供できる治療方針に努めています。

年収・月収例　専攻医1年目：900万／年

外来患者数　252人／日　入院患者数　160人／日

小児科



※掲載しているデータは2024年9月に収集したものです。データを開示しない項目には、「—」と表示しています。
※Mapは、裏表紙をご参照ください。Map上に番号で各病院の所在地を示しています。
※患者数は、当科の患者数を記載しています。

Map❶／南部　埼玉県済生会川口総合病院 小児科専門研修プログラム

埼玉県済生会川口総合病院

当科病床数	研修期間	連携施設数	医師数	指導医数	募集定員	入職実績（'22~'24実績）	入局
37床	3年	3施設	10名	8名	2名	2名	—

サブスペ：周産期／新生児／小児循環器／小児神経／小児血液／アレルギー／内分泌代謝科／腎臓

連携施設　埼玉医科大学国際医療センター、埼玉医科大学総合医療センター、土屋小児病院

小児科は「小児の総合診療科」として運営されており、症例も変化に富み、幅広く一般小児医療の研修を行うことができます。在宅医療や地域の福祉・保健機関との連携など、先進的な医療も提供しています。

年収・月収例　専攻医1年目：約676万／年

外来患者数　58人／日　入院患者数　16人／日

Map❸／南部　川口市立医療センター 小児科専門研修プログラム

川口市立医療センター

当科病床数	研修期間	連携施設数	医師数	指導医数	募集定員	入職実績（'22~'24実績）	入局
28床	3年	8施設	14名	6名	7名	2名	—

サブスペ：周産期／新生児／小児循環器／小児神経／小児血液／アレルギー／内分泌代謝科／腎臓

連携施設　東京医科歯科大学病院、東京北医療センター 等

小児科・NICU科の多様な領域の専門指導医がおり、小児科総合医としての研修だけでなく、小児外科を含めた各専門診療を学べます。小児科は川口市周辺地域の救急医療を担い、NICU科は埼玉県南東部をカバーする地域周産期母子医療センターの役割をしています。

年収・月収例　—

外来患者数　112.5人／日　入院患者数　40.5人／日

Map❼／南西部　国立病院機構埼玉病院 小児科専門研修プログラム

国立病院機構埼玉病院

当科病床数	研修期間	連携施設数	医師数	指導医数	募集定員	入職実績（'22~'24実績）	入局
67床	3年	4施設	23名	17名	3名	3名	不要

サブスペ：周産期／新生児／小児循環器／小児神経／小児血液／アレルギー／内分泌代謝科／腎臓

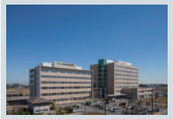
連携施設　—

当プログラムは大学病院から地域中核病院、NICUから小児科とバランスよく研修ができ、多くの先輩小児科医に臨床から論文投稿まで指導を受けられるという特徴があり、若手が切磋琢磨して成長できる環境です。

年収・月収例　専攻医1年目：47.6万／月

外来患者数　152人／日　入院患者数　50人／日

Map⑧／南西部



イムス富士見総合病院

イムス富士見総合病院 小児科専門研修プログラム

当科病床数	研修期間	連携施設数	医師数	指導医数	募集定員	入職実績（'22~'24実績）	入局
45床	3年	3施設	13名	8名	2名	—	—

サブスペ：周産期 ／ 新生児 ／ 小児循環器 ／ 小児神経 ／ 小児血液 ／ アレルギー ／ 内分泌代謝科 ／ 腎臓

連携施設：—

イムス富士見総合病院小児科は埼玉県南西部を二次医療圏とし、埼玉県の救急病院の認定を受け、朝霞地区の小児二次救急医療体制の一翼を担っているほか、小児慢性特定疾病医療機関に指定されており、地域の特性と病院の役割に応じ幅広く研修できる体制を整えております。

年収・月収例：詳細はご連絡お願い致します

外来患者数：62人／日　入院患者数：25人／日

Map⑬／東部

獨協医科大学埼玉医療センター

獨協医科大学埼玉医療センター 小児科専門研修プログラム

当科病床数	研修期間	連携施設数	医師数	指導医数	募集定員	入職実績（'22~'24実績）	入局
45床	3年	4施設	23名	15名	5名	5名	要

サブスペ：周産期 ／ 新生児 ／ 小児循環器 ／ 小児神経 ／ 小児血液 ／ アレルギー ／ 内分泌代謝科 ／ 腎臓

連携施設：獨協医科大学病院、埼玉県立小児医療センター、東京都立小児医療センター 等

小児科に必要なすべての分野の専門医がいます。上級医から若手まで垣根がなく明るい雰囲気で研修できます。外科疾患も子どもをみられる医師がそろっており小児科病棟で連携良く診療しています。

年収・月収例：—

外来患者数：137人／日　入院患者数：43人／日

Map⑲／さいたま

自治医科大学附属さいたま医療センター

自治医科大学附属さいたま医療センター 小児科専門研修プログラム

当科病床数	研修期間	連携施設数	医師数	指導医数	募集定員	入職実績（'22~'24実績）	入局
55床	3年	2施設	21名	9名	5名	7名	要

サブスペ：周産期 ／ 新生児 ／ 小児循環器 ／ 小児神経 ／ 小児血液 ／ アレルギー ／ 内分泌代謝科 ／ 腎臓

連携施設：自治医科大学附属病院、さいたま赤十字病院

さいたま市の2次救急輪番病院であり、地域周産期センターも有しているので、小児救急患者の対応や周産期医学の研修ができます。また、積極的に超音波診断を行っているので、その基本的手技が学べます。

年収・月収例：専攻医1年目：約34万／月＋時間外手当＋賞与 約132万／年

外来患者数：39.1人／日　入院患者数：30.1人／日

Map⑳／さいたま

さいたま市立病院

さいたま市立病院小児科専門研修プログラム

当科病床数	研修期間	連携施設数	医師数	指導医数	募集定員	入職実績（'22~'24実績）	入局
73床	3年	3施設	30名	10名	3名	9名	—

サブスペ：周産期 ／ 新生児 ／ 小児循環器 ／ 小児神経 ／ 小児血液 ／ アレルギー ／ 内分泌代謝科 ／ 腎臓

連携施設：慶應義塾大学病院、国立病院機構埼玉病院、埼玉県立小児医療センター

10名の小児科指導医、多くのサブスペシャルティ領域の専門医がいます。一般小児急性疾患を中心に、新生児医療から移行期医療まで幅広い分野の症例を数多く経験し、専門的な指導を受けることができます。

年収・月収例：専攻医1年目：約61万／月　別途賞与、諸手当支給あり

外来患者数：114人／日　入院患者数：52人／日

Map㉕／さいたま

さいたま市民医療センター

さいたま市民医療センター 小児科専門研修プログラム

当科病床数	研修期間	連携施設数	医師数	指導医数	募集定員	入職実績（'22~'24実績）	入局
54床	3年	2施設	15名	2名	2名	6名	—

サブスペ：周産期 ／ 新生児 ／ 小児循環器 ／ 小児神経 ／ 小児血液 ／ アレルギー ／ 内分泌代謝科 ／ 腎臓

連携施設：—

さいたま市（人口130万人）の小児救急搬送の約50％を対応し、地域密着の総合医としての小児科医や、食物アレルギーのような小児アレルギー疾患に興味がある方にとって、独自性のある有益なプログラムです。

年収・月収例：専攻医1年目：770万／年

外来患者数：66人／日　入院患者数：26人／日

Map㉖／さいたま

埼玉県立小児医療センター

埼玉県立小児医療センター 小児科専門研修プログラム

当科病床数	研修期間	連携施設数	医師数	指導医数	募集定員	入職実績（'22~'24実績）	入局
316床	3年	6施設	186名	66名	5名	15名	—

サブスペ：周産期 ／ 新生児 ／ 小児循環器 ／ 小児神経 ／ 小児血液 ／ アレルギー ／ 内分泌代謝科 ／ 腎臓

連携施設：草加市立病院、上尾中央総合病院、済生会川口総合病院 等

本プログラムでは、「小児医療の水準向上・進歩発展を図り、小児の健康増進および福祉の充実に寄与する優れた小児科専門医を育成する」ことを目的とし、一定の専門領域に偏ることなく、幅広く研修します。

年収・月収例：850万／年

外来患者数：587.3人／日　入院患者数：22人／日

Map㉜／川越比企

埼玉医科大学総合医療センター

埼玉医科大学総合医療センター 小児科専門研修プログラム

当科病床数	研修期間	連携施設数	医師数	指導医数	募集定員	入職実績（'22~'24実績）	入局
130床	3年	21施設	59名	12名	9名	18名	不要

サブスペ：周産期 ／ 新生児 ／ 小児循環器 ／ 小児神経 ／ 小児血液 ／ アレルギー ／ 内分泌代謝科 ／ 腎臓

連携施設：カルガモの家、埼玉医科大学病院、埼玉医科大学国際医療センター、東京大学医学部附属病院、東京医科大学病院、済生会川口総合病院 等

大学病院と地域密着型市中病院の2つの機能を併せ持ち、common diseaseから先進医療まで様々な症例を経験することが可能です。

年収・月収例：お問い合わせください。

外来患者数：100人／日　入院患者数：100人／日

Map㉞／川越比企

埼玉医科大学病院

埼玉医科大学病院小児科専門研修プログラム

当科病床数	研修期間	連携施設数	医師数	指導医数	募集定員	入職実績（'22~'24実績）	入局
58床	3年	4施設	37名	17名	7名	10名	要

サブスペ：周産期 ／ 新生児 ／ 小児循環器 ／ 小児神経 ／ 小児血液 ／ アレルギー ／ 内分泌代謝科 ／ 腎臓

連携施設：HP参照

当院は大学病院と地域基幹病院の両面があり、common diseaseから専門分野まで幅広く研修できます。小児科医の1st stepに最適な環境です。

年収・月収例：—

外来患者数：86人／日　入院患者数：22人／日

皮膚科

※掲載しているデータは2024年9月に収集したものです。データを開示しない項目には、「—」と表示しています。
※Mapは、裏表紙をご参照ください。Map上に番号で各病院の所在地を示しています。
※患者数は、当科の患者数を記載しています。

Map⑬／東部

獨協医科大学埼玉医療センター

獨協医科大学埼玉医療センター 皮膚科専門研修プログラム

当科病床数	研修期間	連携施設数	医師数	指導医数	募集定員	入職実績（'22~'24実績）	入局
20床	5年	8施設	19名	7名	4名	4名	要

サブスペ：美容外科 ／ 皮膚悪性腫瘍 ／ アレルギー ／ リウマチ ／ 感染症

連携施設：春日部中央総合病院、済生会川口総合病院 等

当科では、多彩な皮膚疾患を診療しており、外来診療で求められるcommon skin diseaseへの対応から、重症・難治性皮膚疾患の治療、皮膚悪性腫瘍まで幅広く研修することができます。

年収・月収例：—

外来患者数：108人／日　入院患者数：20人／日

Map⑲／さいたま

自治医科大学附属さいたま医療センター

自治医科大学附属さいたま医療センター 皮膚科専門研修プログラム

当科病床数	研修期間	連携施設数	医師数	指導医数	募集定員	入職実績（'22~'24実績）	入局
6床	5年	10施設	8名	1名	3名	2名	要

サブスペ：美容外科 ／ 皮膚悪性腫瘍 ／ アレルギー ／ リウマチ ／ 感染症

連携施設：JCHOさいたま北部医療センター、春日部中央総合病院、東京慈恵会医科大学附属病院 等

病診連携が整っており、非常に多彩な症例を紹介頂くので、疾患の偏りなく幅広い研修を行えます。中でも皮膚外科や皮膚悪性腫瘍の診療には力を入れており、皮膚悪性腫瘍指導専門医も在籍しています。

年収・月収例：専攻医1年目：約34万／月＋時間外手当＋賞与 約132万／年

外来患者数：104.3人／日　入院患者数：8.4人／日

Map㉜／川越比企

埼玉医科大学総合医療センター

埼玉医科大学総合医療センター 皮膚科専門研修プログラム

当科病床数	研修期間	連携施設数	医師数	指導医数	募集定員	入職実績（'22~'24実績）	入局
14床	5年	8施設	14名	4名	4名	7名	要

サブスペ：美容外科 ／ 皮膚悪性腫瘍 ／ アレルギー ／ リウマチ ／ 感染症

連携施設：—

埼玉県の基幹病院として近隣の皮膚科医あるいは他科医からの紹介による重症・治療困難な症例が多く、豊富な経験を積む事が可能である。病診連携、他科連携にも力を入れており、多くの勉強会を運営している。

年収・月収例：—

外来患者数：109人／日　入院患者数：15人／日

Map㉞／川越比企

埼玉医科大学病院

埼玉医科大学病院皮膚科研修プログラム

当科病床数	研修期間	連携施設数	医師数	指導医数	募集定員	入職実績（'22~'24実績）	入局
19床	5年	12施設	25名	9名	5名	10名	要

サブスペ：美容外科 ／ 皮膚悪性腫瘍 ／ アレルギー ／ リウマチ ／ 感染症

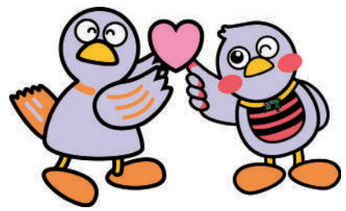
連携施設：HP参照

地域を反映して幅広い皮膚疾患を経験できます。内科的治療から手術まで自科で担当しますので、高い能力を持った皮膚科医を目指せます。サブスペシャルティを持つことや、研究や大学院進学も可能です。また、個々の医師に合わせた多様な働き方を提案しています。

年収・月収例：—

外来患者数：87人／日　入院患者数：12人／日

精神科



※掲載しているデータは2024年9月に収集したものです。データを開示しない項目には、「—」と表示しています。
※Mapは、裏表紙をご参照ください。Map上に番号で各病院の所在地を示しています。
※患者数は、当科の患者数を記載しています。
※「検査数等」には、年間統計の数値を記載しています。

Map⑪／東部

順天堂大学医学部附属順天堂越谷病院

順天堂大学附属病院精神科専門医研修プログラム

当科病床数	研修期間	連携施設数	医師数	指導医数	募集定員	入職実績（'22~'24実績）	入局
226床	3年	5施設	20名	5名	10名	10名	要

検査数等：—

連携施設：順天堂医院、順天堂静岡病院、順天堂浦安病院、順天堂練馬病院、順天堂東京江東高齢者医療センター

順天堂大学6附属病院全てにメンタルクリニック医局が存在し、全プログラムを大学附属病院内の連携にて、専門医と精神保健指定医の資格取得もできる指導体制を整えている。

年収・月収例：—

外来患者数：435人／日　入院患者数：207人／日

Map⑫／東部

南埼玉病院

南埼玉病院連携施設精神科専門医研修プログラム

当科病床数	研修期間	連携施設数	医師数	指導医数	募集定員	入職実績（'22~'24実績）	入局
230床	3年	2施設	7名	3名	1名	3名	—

検査数等：初診外来 F2：74、F3：83、F4：113、措置入院 14名

連携施設：いずみクリニック、東川口いずみクリニック

民間精神科病院が基幹施設である本プログラムは、我が国の精神科病床のほとんどが、民間精神科病院である現実に即し、地域社会に根ざした臨床実践的な内容のプログラムを目指しています。

年収・月収例：専攻医1年目：1,000万／年

外来患者数：65人／日　入院患者数：210人／日

Map⑬／東部

獨協医科大学埼玉医療センター

獨協医科大学埼玉医療センター 精神科専門研修プログラム

当科病床数	研修期間	連携施設数	医師数	指導医数	募集定員	入職実績（'22～'24実績）	入局
—	3年	5施設	10名	5名	5名	3名	要

検査数等：うつ病・双極性障害圏：2,400件、器質・認知症圏：1,400件、発達障害圏：900件 等

連携施設：獨協医科大学病院、岡田病院、独立行政法人国立病院機構花巻病院、東松山病院、池沢神経科病院

精神療法のできる精神科医を育成。症例検討会を毎日開催。きめ細かい指導で、患者の個性に応じた面接法を習得。目標は症状と生活を診て、柔軟に力強く患者を支援できる精神科医。他科・他学部からの転向者歓迎。

年収・月収例：—
外来患者数：79人／日　入院患者数：—人／日

Map⑱／東部

北辰病院

北辰病院精神科専門医研修プログラム

当科病床数	研修期間	連携施設数	医師数	指導医数	募集定員	入職実績（'22～'24実績）	入局
238床	3年	4施設	11名	7名	4名	1名	要

検査数等：—

連携施設：東京慈恵会医科大学附属病院、日本医科大学付属病院、東京医科大学病院、日本大学附属板橋病院

精神科救急から地域社会での生活のサポートまで、地域医療のあらゆる面での医療的要請に精神医療がどう応えていくかを、豊富な症例を通じて学び臨床実践的な内容のプログラムである。

年収・月収例：—
外来患者数：117人／日　入院患者数：190人／日

Map㉓／さいたま

浦和神経サナトリウム

浦和神経サナトリウム 精神科専門研修プログラム

当科病床数	研修期間	連携施設数	医師数	指導医数	募集定員	入職実績（'22～'24実績）	入局
257床	3年	2施設	12名	4名	1名	4名	—

検査数等：初診患者数：700名、措置入院数：35名

連携施設：新宿ゲートウェイクリニック 等

急性期患者を中心とする都市型の精神科病院と大規模な精神科産業医業務を主とする都心型クリニックからなる精神科研修プログラムです。専門医、指定医を取得するための十分な症例を経験できます。

年収・月収例：—
外来患者数：100人／日　入院患者数：245人／日

Map㉔／さいたま

大宮厚生病院

大宮厚生病院精神科専門研修プログラム

当科病床数	研修期間	連携施設数	医師数	指導医数	募集定員	入職実績（'22～'24実績）	入局
281床	3年	10施設	14名	5名	2名	6名	要

検査数等：主な外来・入院症例数 統合失調症：1,452件、気分障害：1,065件、神経症性障害等：250件

連携施設：自治医科大学附属さいたま医療センター、埼玉県立精神医療センター、墨東病院、豊島病院、成増厚生病院 等

地域の精神科関連諸施設との連携による地域包括ケアの中で研修を実施するとともに、近郊の大学病院・公立病院および東京都内病院を連携施設として精神科医療全般を各施設の経験豊富な指導医より指導を実施。

年収・月収例：—
外来患者数：148人／日　入院患者数：209人／日

Map㉚／県央

埼玉県立精神医療センター

埼玉県立精神医療センター 精神科専門医研修プログラム

当科病床数	研修期間	連携施設数	医師数	指導医数	募集定員	入職実績（'22～'24実績）	入局
183床	3年	8施設	22名	14名	4名	6名	不要

検査数等：初診外来 F1：344、F2：173、F9：76、措置入院：64名

連携施設：埼玉医科大学病院、東京医科歯科大学病院 等

埼玉県唯一の県立精神科病院として、急性期や依存症、児童思春期、医療観察法などの病棟において、多職種チーム医療を基本とした高度専門医療を提供しています。連携施設の病院では、総合病院精神科や学問的視野からの研修にも従事できます。

年収・月収例：専攻医2年目：850万／年
外来患者数：134.1人／日　入院患者数：150.3人／日

Map㉛／県央

埼玉県済生会鴻巣病院

埼玉県済生会鴻巣病院精神科研修プログラム

当科病床数	研修期間	連携施設数	医師数	指導医数	募集定員	入職実績（'22～'24実績）	入局
379床	3年	4施設	19名	4名	2名	5名	—

検査数等：主な入院症例数 統合失調症：210件、気分障害：150件、認知症：83件、他措置入院：44件

連携施設：北里大学メディカルセンター、深谷メンタルクリニック、成増厚生病院、東京医科歯科大学病院

当プログラムは、済生会で唯一の単科精神科病院であり、公的病院として埼玉県の県央保健医療圏において精神科医療の中核を担っている埼玉県済生会鴻巣病院を基幹施設とし、4つの連携施設から構成されています。

年収・月収例：専攻医1年目：1,090万／年（諸手当含）
外来患者数：134.9人／日　入院患者数：306.2人／日

Map㉜／川越比企

埼玉医科大学総合医療センター

埼玉医科大学総合医療センター 精神科専門研修プログラム

当科病床数	研修期間	連携施設数	医師数	指導医数	募集定員	入職実績（'22～'24実績）	入局
—	3年	12施設	10名	5名	5名	4名	要

検査数等：—

連携施設：—

埼玉医科大学総合医療センター（埼玉県川越市）と12の連携施設からなるプログラムです。3年間のうちの1年間は入院設備のある連携施設で研修します。専攻医の志向に合わせた自由度の高いプログラムです。

年収・月収例：—
外来患者数：90人／日　入院患者数：—人／日

Map㉞／川越比企

埼玉医科大学病院

埼玉医科大学病院・連携施設 精神科専門医研修プログラム

当科病床数	研修期間	連携施設数	医師数	指導医数	募集定員	入職実績（'22～'24実績）	入局
78床	3年	14施設	26名	6名	8名	12名	要

検査数等：F0：33、F1：10、F2：93、F3：64、F4：41、F5：25、F6：2、F7：9、F8：7、F9：3、G40：18、総計：305

連携施設：埼玉医科大学総合医療センター、埼玉医科大学国際医療センター、丸木記念福祉メディカルセンター、埼玉県立精神医療センター、社会福祉法人シナプス埼玉精神神経センター 等

基幹施設は高規格の精神科救急病棟を有し大学病院としては稀有な存在である。多彩な連携施設での研修と組み合わせることで、実地臨床で遭遇するケースを網羅的に体験できる点が特徴であり、その網羅性は広さと深さを両立している。

年収・月収例：—
外来患者数：127人／日　入院患者数：57人／日

Map㊲／利根

久喜すずのき病院

久喜すずのき病院連携施設 精神科専門研修プログラム

当科病床数	研修期間	連携施設数	医師数	指導医数	募集定員	入職実績（'22～'24実績）	入局
442床	3年	8施設	33名	8名	6名	16名	—

検査数等：初診数 3,492名、症例数（入外合計）F0：3,797、F1：864、F2：6,347、F3：10,211、F4 F50：7,429、F6：264、その他：2,607 この他m-ECT、クロザリル症例多数

連携施設：東京女子医科大学病院、東京臨海病院、すずのきクリニック、大宮すずのきクリニック、草加すずのきクリニック、新座すずのきクリニック、すずのきメンタルケアクリニック、石郷岡病院

地域の中核的な精神科病院において、精神科救急医療、在宅医療、認知症治療を学ぶことができる。大学病院や総合病院で先進的な医療やリエゾンコンサルテーションを経験できる。症例数が豊富であるため、様々な症例を経験することができる。

年収・月収例：専攻医1 ～ 3年目：1,350万／年
外来患者数：408.7人／日　入院患者数：423人／日

外　科

※掲載しているデータは2024年9月に収集したものです。データを開示しない項目には、「—」と表示しています。
※Mapは、裏表紙をご参照ください。Map上に番号で各病院の所在地を示しています。
※患者数は、当科の患者数を記載しています。

Map⑦／南西部

国立病院機構埼玉病院

国立病院機構埼玉病院 外科専門研修プログラム

当科病床数	研修期間	連携施設数	医師数	指導医数	募集定員	入職実績（'22～'24実績）	入局
78床	3年	4施設	17名	7名	3名	1名	不要

サブスペ：消化器外科　呼吸器外科　心臓血管外科　小児外科　乳腺外科　内分泌外科

連携施設：—

各専門分野を網羅した基幹病院と地域の中核病院で構成される連携施設群で、common diseaseから先端治療まで豊富な症例をバランスよく経験できます。専攻医の術者症例も豊富で、実臨床のスキル向上が目指せます。

年収・月収例：専攻医1年目：47.6万／月
外来患者数：125人／日　入院患者数：50人／日

Map⑬／東部

獨協医科大学埼玉医療センター

獨協医科大学埼玉医療センター外科専門研修プログラム（サブスペシャリティ連動型）

当科病床数	研修期間	連携施設数	医師数	指導医数	募集定員	入職実績（'22～'24実績）	入局
152床	3年	20施設	40名	20名	10名	15名	要

サブスペ：消化器外科　呼吸器外科　心臓血管外科　小児外科　乳腺外科　内分泌外科

連携施設：獨協医科大学病院、春日部市立医療センター、深谷赤十字病院、伊勢崎佐波医師会病院、明理会中央総合病院 等

都内の基幹病院から埼玉県東部地区の地域連携病院まで様々な連携施設が登録されており、各専攻医の希望に応じた研修が可能です。外科専門医取得に必要な術者件数は、基幹施設だけで十分充足できます。

年収・月収例：—
外来患者数：192人／日　入院患者数：119人／日

Map⑲／さいたま

自治医科大学附属さいたま医療センター

自治医科大学附属さいたま医療センター 外科専門研修プログラム

当科病床数	研修期間	連携施設数	医師数	指導医数	募集定員	入職実績（'22～'24実績）	入局
103床	3年	23施設	39名	27名	10名	18名	要

サブスペ：消化器外科　呼吸器外科　心臓血管外科　小児外科　乳腺外科　内分泌外科

連携施設：練馬光が丘病院、さいたま市立病院、仙台オープン病院 等

基幹施設（当院）と21 ヵ所の連携施設で、3年間NCD登録数13,566例、専門研修指導医12名。サブスペシャリティ領域（消化器、心臓血管、呼吸器、小児）専門医取得コース、大学院連動コースの選択が可能です。

年収・月収例：専攻医1年目：約34万／月＋時間外手当＋賞与 約132万／年
外来患者数：221人／日　入院患者数：127.8人／日

Map⑳／さいたま

さいたま市立病院

さいたま市立病院外科専門研修プログラム

当科病床数	研修期間	連携施設数	医師数	指導医数	募集定員	入職実績（'22～'24実績）	入局
78床	3年	2施設	23名	8名	2名	3名	—

サブスペ：消化器外科　呼吸器外科　心臓血管外科　小児外科　乳腺外科　内分泌外科

連携施設：JCHO埼玉メディカルセンター、福岡新水巻病院

当院は2019年12月に新病院となり、快適な環境で研修を受けられます。さいたま市の中核病院であり、手術患者数・救急外来患者数が多いのが魅力です。外科各分野が揃い、手術件数は年間1,400例を超え、当プログラムで外科専門医資格取得が可能です。

年収・月収例：専攻医1年目：約61万／月　別途賞与、諸手当支給あり
外来患者数：94人／日　入院患者数：51人／日

Map㉒／さいたま

さいたま赤十字病院

さいたま赤十字病院外科専門研修プログラム

当科病床数	研修期間	連携施設数	医師数	指導医数	募集定員	入職実績（'22～'24実績）	入局
176床	3年	6施設	23名	15名	3名	2名	不要

サブスペ：消化器外科　呼吸器外科　心臓血管外科　小児外科　乳腺外科　内分泌外科

連携施設：国立がん研究センター中央病院、国立がん研究センター東病院、メディカルトピア草加病院、虎の門病院、東邦大学医療センター佐倉病院 等

当院は症例数が豊富で、研修では救急疾患やがん診療など幅広い疾患を学ぶことができます。また連携施設では、がん診療・内視鏡手術・肥満手術等、専門的な知識や手術手技を習得することも可能です。

年収・月収例：HP参照
外来患者数：155.9人／日　入院患者数：61人／日

Map㉘／県央

上尾中央総合病院

AMG外科専門研修プログラム

当科病床数	研修期間	連携施設数	医師数	指導医数	募集定員	入職実績（'22～'24実績）	入局
52床	3年	13施設	23名	14名	2名	5名	不要

サブスペ：消化器外科　呼吸器外科　心臓血管外科　小児外科　乳腺外科　内分泌外科

連携施設：北里大学病院、帝京大学医学部附属病院 等

基幹1,500例、連携病院合わせて15,000症例の手術数があり、早い段階から多数の内視鏡外科手術を執刀します。内視鏡外科エキスパートからの指導により、外科専門医取得に必要な症例数は約1年で満たすことができ将来の専門領域へのアクセスを早期から可能とするサポート体制となっています。

年収・月収例：1年目：66万／月※別途当直手当・時間外手当
外来患者数：89人／日　入院患者数：56人／日

Map32／川越比企

埼玉医科大学
総合医療センター

埼玉医科大学総合医療センター 外科専門研修プログラム

当科病床数	研修期間	連携施設数	医師数	指導医数	募集定員	入職実績（'22~'24実績）	入局
142床	3年	19施設	51名	34名	10名	4名	要

サブスペ：消化器外科／呼吸器外科／心臓血管外科／小児外科／乳腺外科／内分泌外科

連携施設：—

高度救命、周産期センターの併設、高度型がん拠点病院等、県内屈指のSuper general hospitalである。19の連携施設を有し、悪性腫瘍のほか良性・救急疾患症例も豊富で多種多様の経験が可能。

年収・月収例：—
外来患者数：—人／日　入院患者数：—人／日

Map35／西部

埼玉石心会病院

埼玉石心会病院外科専門研修プログラム

当科病床数	研修期間	連携施設数	医師数	指導医数	募集定員	入職実績（'22~'24実績）	入局
49床	3年	9施設	19名	14名	3名	2名	—

サブスペ：消化器外科／呼吸器外科／心臓血管外科／小児外科／乳腺外科／内分泌外科

連携施設：川崎幸病院、東京女子医科大学病院、埼玉医科大学国際医療センター、埼玉医科大学総合医療センター、獨協医科大学病院、獨協医科大学埼玉医療センター、大分大学医学部附属病院、国立成育医療研究センター、静原記念病院

当院の理念である『断らない医療』『患者主体の医療』『地域に根ざし、地域に貢献する医療』を念頭におき、外科診療の標準的な知識とスキルを修得します。豊富な手術症例から、最短で外科専門医に必要な症例数を経験し、地域の外科医療を即戦力で担える外科専門医の育成を目指します。

年収・月収例：専攻医1年目：832万／年
外来患者数：—人／日　入院患者数：79人／日

Map36／西部

埼玉医科大学
国際医療センター

埼玉医科大学外科専門研修プログラム

当科病床数	研修期間	連携施設数	医師数	指導医数	募集定員	入職実績（'22~'24実績）	入局
171床	3年	18施設	61名	34名	11名	7名	推奨

サブスペ：消化器外科／呼吸器外科／心臓血管外科／小児外科／乳腺外科／内分泌外科

連携施設：埼玉医科大学病院、埼玉医科大学総合医療センター、相澤病院、横浜市立市民病院、新久喜総合病院 等

高度専門医療を行う国際医療センターと特定機能病院の大学病院の二つが基幹病院として機能し全ての領域で多くの症例を経験可能で、generalな外科医から高度専門分野を目指す場合のどちらにも対応できます。

年収・月収例：—
外来患者数：217.4人／日　入院患者数：179.4人／日

Map38／利根

羽生総合病院

羽生総合病院外科専攻医専門研修プログラム

当科病床数	研修期間	連携施設数	医師数	指導医数	募集定員	入職実績（'22~'24実績）	入局
60床	3年	4施設	6名	6名	3名	—	不要

サブスペ：消化器外科／呼吸器外科／心臓血管外科／小児外科／乳腺外科／内分泌外科

連携施設：皆野病院、共愛会病院、名瀬徳洲会病院、新庄徳洲会病院

羽生総合病院一般外科専門研修プログラムは羽生総合病院が中心となって外科の専門医を育成するプログラムである。元来湘南外科グループの一員であり、外科の症例数もある当院は、地域への貢献の面で言えば地域医療の外科診療を支える総合病院である。

年収・月収例：—
外来患者数：32人／日　入院患者数：38人／日

Map39／利根

新久喜総合病院

新久喜総合病院外科専門研修プログラム

当科病床数	研修期間	連携施設数	医師数	指導医数	募集定員	入職実績（'22~'24実績）	入局
85床	3年	10施設	16名	13名	6名	4名	不要

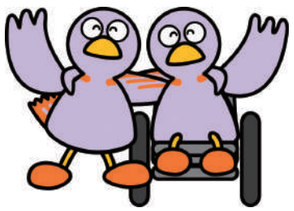
サブスペ：消化器外科／呼吸器外科／心臓血管外科／小児外科／乳腺外科／内分泌外科

連携施設：—

・外科専攻医に適した豊富な症例
・内視鏡外科を含めた手術での早期執刀
・サブスペシャリティ領域へのシームレスな移行

年収・月収例：900万～1,100万／年
外来患者数：78人／日　入院患者数：80.7人／日

整形外科



※掲載しているデータは2024年9月に収集したものです。データを開示しない項目には、「—」と表示しています。
※Mapは、裏表紙をご参照ください。Map上に番号で各病院の所在地を示しています。
※患者数は、当科の患者数を記載しています。

Map1／南部

埼玉県済生会
川口総合病院

埼玉県南部整形外科専門研修プログラム

当科病床数	研修期間	連携施設数	医師数	指導医数	募集定員	入職実績（'22~'24実績）	入局
57床	4年	12施設	12名	9名	3名	9名	—

サブスペ：脊髄脊椎外科／手外科／リウマチ

連携施設：東京医科歯科大学病院、埼玉県立がんセンター、さいたま赤十字病院、川口工業総合病院 等

東京医科歯科大学と県内南部の外傷・膝関節・スポーツ・股関節・骨軟部腫瘍などの専門病院と連携し、バランスよく高度な専門領域が研修できます。ぜひ一緒に頑張りましょう。

年収・月収例：専攻医1年目：676万／年
外来患者数：120人／日　入院患者数：46人／日

Map3／南部

川口市立医療センター

川口市立医療センター 整形外科専門研修プログラム

当科病床数	研修期間	連携施設数	医師数	指導医数	募集定員	入職実績（'22~'24実績）	入局
57床	4年	15施設	8名	2名	2名	—	—

サブスペ：脊髄脊椎外科／手外科／リウマチ

連携施設：日本大学医学部附属板橋病院、日本大学病院、公立阿伎留医療センター 等

本研修プログラムでは、基幹施設及び連携施設全体において専門性の高い診療を早くから経験して、質の高い技能と整形外科専門医取得後のサブスペシャリティ領域の研修へと継続していくことができます。多様な疾患の多数症例の経験が可能です。

年収・月収例：—
外来患者数：89.3人／日　入院患者数：48.4人／日

Map4／南部

戸田中央総合病院

東京医科大学整形外科学分野（戸田中央総合病院）専門研修Ⅱ型プログラム

当科病床数	研修期間	連携施設数	医師数	指導医数	募集定員	入職実績（'22~'24実績）	入局
49床	4年	13施設	5名	2名	2名	—	—

サブスペ：脊髄脊椎外科／手外科／リウマチ

連携施設：東京医科大学病院 等

本研修プログラムでは、基幹施設である戸田中央総合病院及びⅠ型基幹病院である東京医科大学における研修にて、整形外科全般及びサブスペシャリティに対する専門性の高い研修を行うことができます。

年収・月収例：専攻医1年目：約900万／年
外来患者数：78人／日　入院患者数：40人／日

Map9／南西部

新座志木中央総合
病院

新座志木中央総合病院 整形外科専門研修プログラム

当科病床数	研修期間	連携施設数	医師数	指導医数	募集定員	入職実績（'22~'24実績）	入局
75床	4年	16施設	5名	3名	2名	1名	—

サブスペ：脊髄脊椎外科／手外科／リウマチ

連携施設：昭和大学病院、昭和大学藤が丘病院 等

小児から高齢者の外傷に加え、人工関節センター、リウマチセンター、脊椎センターによる専門的な医療を学ぶことが可能です。また、大学病院でのスポーツ整形を当院で学ぶ機会もあり、研修医の先生の幅広いニーズに対応可能です。

年収・月収例：専攻医1年目：850万／年
外来患者数：132人／日　入院患者数：92人／日

Map13／東部

獨協医科大学埼玉
医療センター

獨協医科大学埼玉医療センター 整形外科専門研修プログラム

当科病床数	研修期間	連携施設数	医師数	指導医数	募集定員	入職実績（'22~'24実績）	入局
65床	4年	15施設	26名	20名	8名	9名	要

サブスペ：脊髄脊椎外科／人工関節／スポーツ／手外科／足外科／小児整形／リウマチ

連携施設：埼玉県済生会加須病院、越谷誠和病院、東埼玉総合病院、埼玉県立がんセンター 等

2次・3次救急病院での多くの外傷と専門病院の関節・脊椎・スポーツ等の専門的治療により全ての領域で質の高い研修ができます。専攻医は多くの症例を執刀しており手術スキルが向上します。将来的なチームドクターや海外留学の道もあります。

年収・月収例：—
外来患者数：116人／日　入院患者数：50人／日

Map27／さいたま

埼玉メディカル
センター

JCHO埼玉メディカルセンター 整形外科専門研修プログラム

当科病床数	研修期間	連携施設数	医師数	指導医数	募集定員	入職実績（'22~'24実績）	入局
56床	4年	8施設	9名	5名	3名	6名	推奨

サブスペ：脊髄脊椎外科／手外科／リウマチ

連携施設：慶應義塾大学病院 等

高齢化社会に即した医療を中心に他科と連携したチーム医療・地域医療、特に包括的な医療を担えるように育成する。特色を持った連携施設でプライマリケアから最先端の臨床・研究までを偏りなく学ぶことができる。

年収・月収例：専攻医3年目：約830万／年
外来患者数：101人／日　入院患者数：47人／日

Map28／県央

上尾中央総合病院

AMG上尾中央総合病院 整形外科専門研修プログラム

当科病床数	研修期間	連携施設数	医師数	指導医数	募集定員	入職実績（'22~'24実績）	入局
83床	4年	24施設	11名	5名	2名	3名	要

サブスペ：脊髄脊椎外科／手外科／リウマチ

連携施設：帝京大学医学部附属病院 等

帝京大学医学部附属病院と連携し、地域医療に貢献できるプライマリ・ケアから療養・介護を含む老人医療、また幅広い視野を持ち包括的な医療を担えるような整形外科医の養成を目指します。

年収・月収例：—
外来患者数：190人／日　入院患者数：85人／日

Map29／県央

北里大学メディカル
センター

北里大学メディカルセンター 整形外科専門研修プログラム

当科病床数	研修期間	連携施設数	医師数	指導医数	募集定員	入職実績（'22~'24実績）	入局
54床	4年	30施設	9名	2名	6名	4名	要

サブスペ：脊髄脊椎外科／手外科／リウマチ

連携施設：北里大学病院、北里大学北里研究所病院、町田市民病院 等

医師として必要な一般的な臨床能力の習得をはじめ、運動器疾患全般に対して具体的に実践できる診療能力を習得することができます。また専門性の高い診断技術と治療方法を見聞することができます。

年収・月収例：—
外来患者数：47.3人／日　入院患者数：53人／日

Map32／川越比企

埼玉医科大学
総合医療センター

埼玉医科大学総合医療センター 整形外科専門研修プログラム

当科病床数	研修期間	連携施設数	医師数	指導医数	募集定員	入職実績（'22~'24実績）	入局
41床	4年	16施設	16名	6名	8名	5名	要

サブスペ：脊髄脊椎外科／手外科／リウマチ

連携施設：—

整形外科領域において幅広い研修が可能ですが、当センターの高度救命救急センターは世界的レベル、おそらく国内最大規模の外傷センターです。そのため外傷に強い整形外科医の育成を特徴としています。

年収・月収例：—
外来患者数：—人／日　入院患者数：—人／日

Map34／川越比企

埼玉医科大学病院

埼玉医科大学整形外科学専門研修プログラム

当科病床数	研修期間	連携施設数	医師数	指導医数	募集定員	入職実績（'22~'24実績）	入局
55床	4年	23施設	21名	14名	8名	4名	要

サブスペ：脊髄脊椎外科／手外科／リウマチ

連携施設：HP参照

脊椎、股関節、肩・膝関節・スポーツ医学、手外科、足の外科、小児整形外科、リウマチ、救急外傷などの診療グループがあり、幅広い研修ができます。専門医取得後もサブスペシャリティ領域の研修も可能です。

年収・月収例：—
外来患者数：125人／日　入院患者数：49人／日

Map㊵／利根

埼玉県済生会
加須病院

埼玉県東部整形外科専門医研修プログラム

当科病床数	研修期間	連携施設数	医師数	指導医数	募集定員	入職実績（'22~'24実績）	入局
30床	4年	11施設	4名	4名	4名	1名	不要

サブスペ：脊髄脊椎外科　手外科　リウマチ

連携施設：獨協医科大学埼玉医療センター、済生会川口総合病院、草加市立病院 等

獨協医科大学病院と連携し、高度な専門領域研修を行うことができ、また、地域の基幹病院として一般的な疾患から外傷まで幅広く経験し、研修することができます。

年収・月収例：専攻医3年目：900万／年
外来患者数：41人／日　入院患者数：17人／日

産婦人科

※掲載しているデータは2024年9月に収集したものです。データを開示しない項目には、「—」と表示しています。
※Mapは、裏表紙をご参照ください。Map上に番号で各病院の所在地を示しています。
※患者数は、当科の患者数を記載しています。
※「検査数等」には、年間統計の数値を記載しています。

Map⑬／東部

獨協医科大学埼玉
医療センター

獨協医科大学埼玉医療センター 産婦人科専門研修プログラム

当科病床数	研修期間	連携施設数	医師数	指導医数	募集定員	入職実績（'22~'24実績）	入局
65床	3年	10施設	27名	8名	6名	8名	要

検査数等：分娩数：363件、手術件数：843件

連携施設：足利赤十字病院、東京都立大塚病院、東京慈恵会医科大学病院、産婦人科菅原病院、永井マザーズホスピタル 等

当院産科婦人科と近郊連携施設での研修で、婦人科腫瘍、周産期、生殖・内分泌、女性のヘルスケアの4領域を満遍なく経験でき、最短卒後6年目での専門医取得率は現在100%。同4領域のサブスペ専門医取得も可能です。

年収・月収例：—
外来患者数：94人／日　入院患者数：37人／日

Map⑲／さいたま

自治医科大学附属
さいたま医療センター

自治医科大学附属さいたま医療センター 産婦人科専門研修プログラム

当科病床数	研修期間	連携施設数	医師数	指導医数	募集定員	入職実績（'22~'24実績）	入局
35床	3年	12施設	15名	6名	8名	16名	要

検査数等：出産数：426件、合併症：8割強、帝切：208件、婦人科手術：285件、腹腔鏡：247件

連携施設：埼玉協同病院、埼玉医科大学総合医療センター、丸山記念総合病院、越谷市立病院、済生会川口総合病院 等

少人数のため、他施設より実践的なプログラムとなっています。手術・腹腔鏡も早くに執刀し、超音波等もできるようになる即戦力養成プログラムです。連携施設派遣を希望に合わせて行えるのも魅力です。

年収・月収例：専攻医1年目：約34万／月＋時間外手当＋賞与 約132万／年
外来患者数：50.4人／日　入院患者数：36人／日

Map㉒／さいたま

さいたま赤十字病院

さいたま赤十字病院産婦人科研修プログラム

当科病床数	研修期間	連携施設数	医師数	指導医数	募集定員	入職実績（'22~'24実績）	入局
52床	3年	13施設	14名	4名	3名	4名	不要

検査数等：分娩数：1,064件、帝王切開：380件、開腹手術：83件、腹腔鏡手術：343件

連携施設：群馬大学医学部附属病院、埼玉医科大学病院、群馬中央病院、前橋赤十字病院 等

当院は総合周産期母子医療センターに指定されており、また他の医療機関と連携を図った診療実践の為、多くの症例経験が可能。医師はベテランから若手まで在籍しているため、診療科全体で研修をサポートできる環境である。

年収・月収例：HP参照
外来患者数：95.7人／日　入院患者数：48人／日

Map㉜／川越比企

埼玉医科大学
総合医療センター

埼玉医科大学総合医療センター 産婦人科専門研修プログラム

当科病床数	研修期間	連携施設数	医師数	指導医数	募集定員	入職実績（'22~'24実績）	入局
103床	3年	12施設	36名	8名	5名	6名	要

検査数等：—

連携施設：—

我が国最大の総合周産期母子医療センターを有し、県から母体救命コントロール事業も委託されている。周産期研修施設であるばかりでなく、腫瘍専門医、生殖専門医の研修施設認定を受けている。

年収・月収例：—
外来患者数：160人／日　入院患者数：85人／日

Map㉞／川越比企

埼玉医科大学病院

埼玉医科大学産婦人科研修プログラム

当科病床数	研修期間	連携施設数	医師数	指導医数	募集定員	入職実績（'22~'24実績）	入局
31床	3年	14施設	18名	9名	6名	8名	要

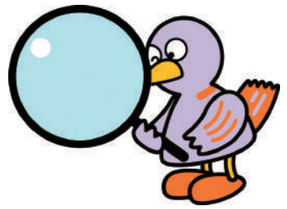
検査数等：分娩：602件、帝王切開：225件、腹腔鏡・子宮鏡：217件、開腹・子宮脱：214件

連携施設：HP参照

基幹施設群と多彩な連携施設でのたすきがけ研修で、全領域の疾患を短期間でバランスよく経験できます。また、専門領域の研修、大学院進学、留学支援など、長期的視点での多様なキャリアパスの支援も可能です。

年収・月収例：—
外来患者数：84人／日　入院患者数：44人／日

眼　科



※掲載しているデータは2024年9月に収集したものです。データを開示しない項目には、「—」と表示しています。
※Mapは、裏表紙をご参照ください。Map上に番号で各病院の所在地を示しています。
※患者数は、当科の患者数を記載しています。
※「検査数等」には、年間統計の数値を記載しています。

Map⑦／南西部

国立病院機構埼玉
病院

国立病院機構埼玉病院 眼科専門研修プログラム

当科病床数	研修期間	連携施設数	医師数	指導医数	募集定員	入職実績（'22~'24実績）	入局
10床	4年	2施設	11名	8名	1名	2名	要

検査数等：白内障手術：1,747件、網膜硝子体手術：223件、緑内障手術：117件（計2,110件）

連携施設：慶應義塾大学病院、埼玉医科大学病院

埼玉県と東京都の県境に位置し広範囲から多数の紹介があり手術件数は年々増加しています。外来・手術研修では複数の経験豊富な指導医が直接指導し、正確に診断し独力で手術を完遂できる眼科医の育成が目標です。

年収・月収例：専攻医1年目：47.6万／月
外来患者数：48人／日　入院患者数：10人／日

Map⑬／東部

獨協医科大学埼玉
医療センター

獨協医科大学埼玉医療センター 眼科専門研修プログラム

当科病床数	研修期間	連携施設数	医師数	指導医数	募集定員	入職実績（'22~'24実績）	入局
45床	4年	4施設	17名	3名	4名	6名	要

検査数等：手術件数：4,397件

連携施設：吉田眼科病院、今泉眼科病院、栗原眼科病院、久留米大学病院

当医局の特徴として、幅広い領域で多くの症例を経験できます。医局セミナー・症例検討会等を通して知識の向上を図るとともに、手術教育に力を入れています。また、社会人大学院が併設されており、学位取得も可能です。

年収・月収例：—
外来患者数：215人／日　入院患者数：28人／日

Map⑲／さいたま

自治医科大学附属
さいたま医療センター

自治医科大学附属さいたま医療センター 眼科専門研修プログラム

当科病床数	研修期間	連携施設数	医師数	指導医数	募集定員	入職実績（'22~'24実績）	入局
14床	4年	6施設	10名	4名	3名	5名	要

検査数等：白内障手術：766件、硝子体手術：411件、緑内障手術：109件、手術件数：1,372件

連携施設：自治医科大学附属病院、JCHOさいたま北部医療センター、日本大学医学部附属板橋病院 等

一般眼科学に精通し、手術を含めた専門性の高い眼科治療にも対応し、将来地域で活躍できる眼科医の育成を目指します。

年収・月収例：専攻医1年目：約34万／月＋時間外手当＋賞与 約132万／年
外来患者数：102.2人／日　入院患者数：9.1人／日

Map㉜／川越比企

埼玉医科大学
総合医療センター

埼玉医科大学総合医療センター 眼科専門研修プログラム

当科病床数	研修期間	連携施設数	医師数	指導医数	募集定員	入職実績（'22~'24実績）	入局
12床	5年	7施設	12名	4名	2名	4名	要

検査数等：—

連携施設：—

眼球と眼付属器に関するあらゆる疾患の病態の把握、正しい診断、適切な治療を行います。クルズスによる知識の習得と抄読会により科学的な思考を臨床に活かします。

年収・月収例：—
外来患者数：90人／日　入院患者数：12人／日

Map㉞／川越比企

埼玉医科大学病院

埼玉医科大学病院眼科専門研修プログラム

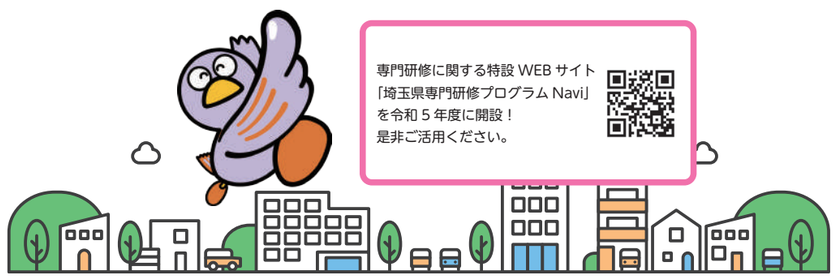
当科病床数	研修期間	連携施設数	医師数	指導医数	募集定員	入職実績（'22~'24実績）	入局
40床	4年	16施設	23名	6名	5名	4名	要

検査数等：白内障：1,777件、緑内障：161件、網膜硝子体：791件、角膜移植：18件、外来手術：2,180件 他多数

連携施設：HP参照

アイセンターとして専門手術室を有し多職種スタッフが眼科専属なので、チーム医療を学ぶことができます。そして広い専門分野にわたるmedicalおよびsurgical眼科の実践診療を習得していただきます。

年収・月収例：—
外来患者数：104人／日　入院患者数：35人／日



耳鼻咽喉科

※掲載しているデータは2024年9月に収集したものです。データを開示しない項目には、「—」と表示しています。
※Mapは、裏表紙をご参照ください。Map上に番号で各病院の所在地を示しています。
※患者数は、当科の患者数を記載しています。
※「検査数等」には、年間統計の数値を記載しています。

Map13／東部

獨協医科大学埼玉医療センター

獨協医科大学埼玉医療センター 耳鼻咽喉科専門研修プログラム

当科病床数	研修期間	連携施設数	医師数	指導医数	募集定員	入職実績（'22~'24実績）	入局
45床	4年	9施設	15名	5名	4名	2名	要

検査数等　手術件数：1,696件

連携施設　獨協医科大学病院、春日部市立医療センター、東京慈恵会医科大学病院、日本大学病院、国立病院機構埼玉病院、東京都立広尾病院 等

当院は耳科および鼻科手術指導医制度の認可可研修施設でもあるので、研修プログラム期間中も当科で手術経験を積むことにより、手術指導医の認定に必要な手術件数を取得できます。

年収・月収例　—

外来患者数　148人／日　入院患者数　42人／日

Map19／さいたま

自治医科大学附属さいたま医療センター

自治医科大学附属さいたま医療センター 耳鼻咽喉科専門研修プログラム

当科病床数	研修期間	連携施設数	医師数	指導医数	募集定員	入職実績（'22~'24実績）	入局
10床	4年	5施設	8名	6名	3名	4名	要

検査数等　耳科手術：195件、鼻科手術：481件、口腔咽喉頭手術：203件、頭頸部手術：220件

連携施設　さいたま市民医療センター、東京北医療センター、埼玉県立がんセンター 等

4年間を通じて耳科、鼻科、頭頸部がんなど耳鼻咽喉科領域全般にわたり多くの症例数が経験でき、手術指導医につながる質の高い研修が可能です。

年収・月収例　専攻医1年目：約34万／月＋時間外手当＋賞与 約132万／年

外来患者数　70.2人／日　入院患者数　13.1人／日

Map28／県央

上尾中央総合病院

AMG耳鼻咽喉科専門研修プログラム

当科病床数	研修期間	連携施設数	医師数	指導医数	募集定員	入職実績（'22~'24実績）	入局
32床	4年	8施設	14名	7名	3名	1名	不要

検査数等　—

連携施設　日本大学医学部附属板橋病院 等

地域の耳鼻咽喉科頭頸部外科診療の中核病院として、common diseaseから緊急手術を要する症例、複数の合併症を有する頭頸部癌まで、数多くの症例を経験。当院で高度な手術手技を含めた実践力を身につけ、連携市中病院では主治医として一人立ちする、良い機会になります。サブスペは頭頸部がん専門医が取得可能。

年収・月収例　1年目：66万／月※別途当直手当・時間外手当

外来患者数　97人／日　入院患者数　34人／日

Map32／川越比企

埼玉医科大学総合医療センター

埼玉医科大学総合医療センター 耳鼻咽喉科専門研修プログラム

当科病床数	研修期間	連携施設数	医師数	指導医数	募集定員	入職実績（'22~'24実績）	入局
14床	4年	30施設	13名	4名	3名	2名	要

検査数等　—

連携施設　—

当プログラムでは、神経耳科疾患から頭頸部外科領域まで幅広く、かつ多くの症例を経験していただくことができるので、当科のすべての領域に精通する「スーパー耳鼻咽喉科・頭頸部外科医」を目指せます。

年収・月収例　—

外来患者数　90人／日　入院患者数　20人／日

Map34／川越比企

埼玉医科大学病院

埼玉医科大学病院 耳鼻咽喉科専門研修プログラム

当科病床数	研修期間	連携施設数	医師数	指導医数	募集定員	入職実績（'22~'24実績）	入局
17床	4年	5施設	11名	6名	4名	2名	要

検査数等　—

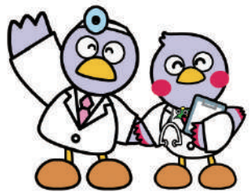
連携施設　—

耳、鼻、めまい、咽頭・喉頭それぞれの専門家が在籍しています。耳鼻咽喉科全般の知識習得を得ることはもちろん、各分野の専門家育成にも力を入れ、埼玉から世界に発信できる医療を目指しています。研修中の出産、育児、留学に対しても柔軟に対応します。是非見学に来ていただき我々の世界を体験してみてください。

年収・月収例　—

外来患者数　64人／日　入院患者数　13人／日

泌尿器科



※掲載しているデータは2024年9月に収集したものです。データを開示しない項目には、「—」と表示しています。
※Mapは、裏表紙をご参照ください。Map上に番号で各病院の所在地を示しています。
※患者数は、当科の患者数を記載しています。

Map13／東部

獨協医科大学埼玉医療センター

獨協医科大学埼玉医療センター 泌尿器科専門研修プログラム

当科病床数	研修期間	連携施設数	医師数	指導医数	募集定員	入職実績（'22~'24実績）	入局
45床	4年	10施設	15名	6名	3名	2名	要

サブスペ　生殖医療　透析　超音波　感染症

連携施設　獨協医科大学病院、羽生総合病院、東埼玉総合病院、栃木県立がんセンター、埼玉県立がんセンター 等

100万人以上の医療圏のトップである当院は、埼玉県東部地域で唯一の泌尿器科研修ができる病院です。悪性腫瘍だけでなく、排尿障害、結石、男性不妊症、腎移植など泌尿器科全ての疾患を学ぶことが可能です。

年収・月収例　—

外来患者数　138人／日　入院患者数　43人／日

Map19／さいたま

自治医科大学附属さいたま医療センター

自治医科大学附属さいたま医療センター 泌尿器科専門研修プログラム

当科病床数	研修期間	連携施設数	医師数	指導医数	募集定員	入職実績（'22~'24実績）	入局
14床	4年	12施設	8名	5名	2名	4名	自由

サブスペ　生殖医療　透析　超音波　感染症

連携施設　さいたま市民医療センター、行田総合病院、板橋中央総合病院 等

2022年度より泌尿器科基幹施設となりました。がん診療が主ですが、良性疾患の研修も可能です。埼玉県を中心とした関東圏の他、愛知県や兵庫県の施設とも連携しており、幅広い泌尿器科研修が可能です。

年収・月収例　専攻医1年目：約34万／月＋時間外手当＋賞与 約132万／年

外来患者数　61.5人／日　入院患者数　15.3人／日

Map28／県央

上尾中央総合病院

AMG泌尿器科専門研修プログラム

当科病床数	研修期間	連携施設数	医師数	指導医数	募集定員	入職実績（'22~'24実績）	入局
38床	4年	9施設	13名	6名	1名	4名	不要

サブスペ　生殖医療　透析　超音波　感染症

連携施設　埼玉医科大学病院、弘前大学医学部附属病院 等

救急疾患を含む泌尿器科領域全般の診療を学ぶことが出来ます。悪性腫瘍・前立腺肥大症・尿路結石の症例が豊富で、特にロボット手術の症例数は全国屈指です。より実践的な知識と技術を身につけることが出来ます。

年収・月収例　1年目：66万／月※別途当直手当・時間外手当

外来患者数　95人／日　入院患者数　34人／日

Map29／県央

北里大学メディカルセンター

北里大学メディカルセンター 泌尿器科専門研修プログラム

当科病床数	研修期間	連携施設数	医師数	指導医数	募集定員	入職実績（'22~'24実績）	入局
16床	4年	14施設	4名	2名	5名	—	要

サブスペ　生殖医療　透析　超音波　感染症

連携施設　北里大学病院、北里大学北里研究所病院、東大和病院 等

泌尿器悪性腫瘍、尿路結石や前立腺肥大症などの泌尿器良性疾患を深く習得するとともに、低侵襲医療を含む先進医療を学ぶことができます。

年収・月収例　—

外来患者数　58.8人／日　入院患者数　13人／日

Map32／川越比企

埼玉医科大学総合医療センター

埼玉医科大学総合医療センター 川越泌尿器科専門研修プログラム

当科病床数	研修期間	連携施設数	医師数	指導医数	募集定員	入職実績（'22~'24実績）	入局
20床	4年	15施設	9名	7名	3名	4名	要

サブスペ　生殖医療　透析　超音波　感染症

連携施設　埼玉医科大学病院、埼玉医科大学国際医療センター、帝京大学附属溝口病院 等

埼玉医科大学総合医療センターを中心としたいくつかの診療拠点病院と地域医療を担う地方中核病院の2群から構成されています。泌尿器科専門医に必要な知識や技能の習得と同時に、地域医療との連携や他の専門医への紹介・転送の判断も的確に行える能力を身につけることができます。

年収・月収例　—

外来患者数　53人／日　入院患者数　—人／日

Map34／川越比企

埼玉医科大学病院

埼玉医科大学3病院 泌尿器科専門研修施設群専門研修プログラム

当科病床数	研修期間	連携施設数	医師数	指導医数	募集定員	入職実績（'22~'24実績）	入局
21床	4年	25施設	8名	5名	6名	3名	要

サブスペ　生殖医療　透析　超音波　感染症

連携施設　HP参照

埼玉医大３病院のうち、大学病院と国際医療センターのスタッフが中心となってあなたのキャリアをサポートします。大学病院では泌尿器科common diseaseの応用問題から超難問を経験し、国際医療センターでは泌尿器がん診療のすべてを俯瞰できます。

年収・月収例　—

外来患者数　66人／日　入院患者数　18人／日

脳神経外科

※掲載しているデータは2024年9月に収集したものです。データを開示しない項目には、「—」と表示しています。
※Mapは、裏表紙をご参照ください。Map上に番号で各病院の所在地を示しています。
※患者数は、当科の患者数を記載しています。
※「検査数等」には、年間統計の数値を記載しています。

Map13／東部

獨協医科大学埼玉医療センター

獨協医科大学埼玉医療センター 脳神経外科専門研修プログラム

当科病床数	研修期間	連携施設数	医師数	指導医数	募集定員	入職実績（'22~'24実績）	入局
54床	4年	7施設	11名	9名	4名	3名	要

検査数等：手術件数：476件

連携施設：獨協医科大学病院、筑波大学病院、一宮西病院、鎌ヶ谷総合病院 等

150万人の人口をバックグラウンドにして、数多くの患者さんの治療を行っています。特に開頭手術と脳血管内治療の両方を同時に研修できるので、全ての専攻医がダブルライセンスを取得しています。

年収・月収例：—
外来患者数：35人／日　入院患者数：39人／日

Map32／川越比企

埼玉医科大学総合医療センター

埼玉医科大学総合医療センター 脳神経外科専門研修プログラム

当科病床数	研修期間	連携施設数	医師数	指導医数	募集定員	入職実績（'22~'24実績）	入局
40床	4年	9施設	12名	7名	4名	3名	要

検査数等：—

連携施設：—

当科は単科としては県内でも最大の手術件数を誇り、若手に積極的に執刀の機会を与えるという方針のもと脳外科医として習得すべき疾患を偏りなく経験できます。連携施設には東京大学医学部附属病院などがあります。

年収・月収例：—
外来患者数：50人／日　入院患者数：44人／日

Map36／西部

埼玉医科大学国際医療センター

脳神経外科専門研修 埼玉医科大学国際医療センタープログラム

当科病床数	研修期間	連携施設数	医師数	指導医数	募集定員	入職実績（'22~'24実績）	入局
120床	4年	31施設	28名	14名	8名	16名	要

検査数等：手術総数：1,053件、脳動脈手術数：244件、脳腫瘍手術：157件、脳血管内治療：368件

連携施設：埼玉県立循環器呼吸器病センター、埼玉県立小児医療センター、横浜新都市脳神経外科病院、相模原協同病院 等

当科は高度に専門特化した3診療科（脳脊髄腫瘍科、脳卒中外科、脳血管内治療科）に分かれ、全国1位の手術数を誇ります。専攻医の出身大学は19大学に及び、学閥はありません。全国に先進的な関連施設があります。

年収・月収例：—
外来患者数：30人／日　入院患者数：95人／日

放射線科

※掲載しているデータは2024年9月に収集したものです。データを開示しない項目には、「—」と表示しています。
※Mapは、裏表紙をご参照ください。Map上に番号で各病院の所在地を示しています。
※「検査数等」には、年間統計の数値を記載しています。

Map13／東部

獨協医科大学埼玉医療センター

獨協医科大学埼玉医療センター 放射線科専門研修プログラム

当科病床数	研修期間	連携施設数	医師数	指導医数	募集定員	入職実績（'22~'24実績）	入局
—	3年	12施設	20名	10名	6名	11名	—

サブスペ：放射線診断　放射線治療　核医学　放射線カテーテル

検査数等：CT：21,779件、MRI：10,585件、IVR：104件、放射線治療：375件

連携施設：東京医科歯科大学病院、獨協医科大学病院、自治医科大学附属さいたま医療センター、東京都立大塚病院、東京都立駒込病院、慶応義塾大学病院 等

放射線科領域における幅広い知識と錬磨された技能、ならびに医師としての高い倫理性、コミュニケーション能力およびプロフェッショナリズムを備えた放射線科専門医をめざし、教育します。

年収・月収例：—
外来患者数：—人／日　入院患者数：—人／日

Map19／さいたま

自治医科大学附属さいたま医療センター

自治医科大学附属さいたま医療センター 放射線科専門研修プログラム

当科病床数	研修期間	連携施設数	医師数	指導医数	募集定員	入職実績（'22~'24実績）	入局
—	3年	7施設	8名	3名	3名	6名	要

サブスペ：放射線診断　放射線治療　核医学　放射線カテーテル

連携施設：獨協医科大学埼玉医療センター、上尾中央総合病院、埼玉県立がんセンター 等

慢性疾患から3次救急まで豊富な症例を経験できます。画像診断・治療・IVRのバランスの良い研修が特徴で、専攻医必須要項を期間内に到達できるよう配慮し、専攻医ごとにきめ細かいカリキュラムを作成しています。

年収・月収例：専門医1年目：約34万／月＋時間外手当＋賞与 約132万／年
外来患者数：—人／日　入院患者数：—人／日

Map36／西部

埼玉医科大学国際医療センター

埼玉医科大学放射線科専門研修プログラム

当科病床数	研修期間	連携施設数	医師数	指導医数	募集定員	入職実績（'22~'24実績）	入局
—	3年	27施設	24名	10名	16名	27名	自由

サブスペ：放射線診断　放射線治療　核医学　放射線カテーテル

検査数等：CT：27,595件、IVR：386件

連携施設：埼玉医科大学総合医療センター、埼玉医科大学病院 等

埼玉医科大学3病院を中心に多くの地域基幹病院や専門病院から研修先を選べます。全国でも有数の規模で放射線科各専門領域の指導医が質量ともに充実しており、専攻実績も多く、希望により柔軟な専門研修が可能です。

年収・月収例：—
外来患者数：—人／日　入院患者数：—人／日

麻酔科

※掲載しているデータは2024年9月に収集したものです。データを開示しない項目には、「—」と表示しています。
※Mapは、裏表紙をご参照ください。Map上に番号で各病院の所在地を示しています。
※患者数は、当科の患者数を記載しています。

Map1／南部

埼玉県済生会川口総合病院

埼玉県済生会川口総合病院 麻酔科専門研修プログラム

当科病床数	研修期間	連携施設数	医師数	指導医数	募集定員	入職実績（'22~'24実績）	入局
—	4年	2施設	9名	7名	2名	1名	—

サブスペ：集中治療　心臓血管麻酔　ペインクリニック

連携施設：東京女子医科大学病院 等

埼玉県南部の地域医療の中核を担っており、総手術件数は年間4,000件を超えている。整形外科、消化器外科、泌尿器科、産婦人科、脳神経外科、呼吸器外科を含むほぼ全科がそろいバランスの良い研修が可能である。

年収・月収例：専攻医1年目：約676万／年
外来患者数：10人／日　入院患者数：—人／日

Map3／南部

川口市立医療センター

川口市立医療センター 麻酔科専門研修プログラム

当科病床数	研修期間	連携施設数	医師数	指導医数	募集定員	入職実績（'22~'24実績）	入局
2床	4年	2施設	7名	2名	1名	—	—

サブスペ：集中治療　心臓血管麻酔　ペインクリニック

連携施設：日本大学医学部附属板橋病院、日本大学病院

無理なく麻酔経験が積めるよう十分な症例を確保しており、関連領域の指導も整えています。麻酔科専門研修と同時に地域医療への貢献が可能となるよう配慮されています。

年収・月収例：—
外来患者数：4.8人／日　入院患者数：—人／日

Map4／南部

戸田中央総合病院

戸田中央総合病院麻酔科専門研修プログラム

当科病床数	研修期間	連携施設数	医師数	指導医数	募集定員	入職実績（'22~'24実績）	入局
10床（ICU）	4年	4施設	5名	2名	2名	2名	—

サブスペ：集中治療　心臓血管麻酔　ペインクリニック

連携施設：東京医科大学病院 等

当院は基礎的かつ包括的な麻酔研修を行い、更に集中治療や救急医療、院内RRSの活動等を通して幅広い領域における全身管理や急変対応を学べます。また他科やコメディカルとの垣根も低くとても働きやすい病院です。

年収・月収例：専攻医1年目：約900万／年
外来患者数：—人／日　入院患者数：—人／日

Map6／南西部

TMGあさか医療センター

TMGあさか医療センター 麻酔科専門研修プログラム

当科病床数	研修期間	連携施設数	医師数	指導医数	募集定員	入職実績（'22~'24実績）	入局
—	4年	4施設	12名	6名	2名	2名	不要

サブスペ：集中治療　心臓血管麻酔　ペインクリニック

連携施設：東京女子医科大学病院、東京女子医科大学附属足立医療センター、板橋中央総合病院、多摩総合医療センター

2次救急に対応し、一般症例から重症症例まで幅広く研修可能です。超音波ガイド下神経ブロックの経験が多く積めます。入院サポートセンター（周術期外来）を通して周術期をチーム医療であたります。

年収・月収例：—
外来患者数：—人／日　入院患者数：—人／日

Map7／南西部

国立病院機構埼玉病院

国立病院機構埼玉病院 麻酔科専門研修プログラム

当科病床数	研修期間	連携施設数	医師数	指導医数	募集定員	入職実績（'22~'24実績）	入局
—	4年	3施設	20名	8名	2名	5名	不要

サブスペ：集中治療　心臓血管麻酔　ペインクリニック

連携施設：昭和病院、埼玉県立小児医療センター、東京品川病院

年間約3,500件の手術症例を麻酔科が担当しています。また、地域の中核病院としてさらなる手術件数の増加が予想されており、麻酔科専門医取得に必要な症例をバランスよく経験することが可能です。

年収・月収例：専攻医1年目：47.6万／月
外来患者数：—人／日　入院患者数：—人／日

Map13／東部

獨協医科大学埼玉医療センター

獨協医科大学埼玉医療センター 麻酔科専門研修プログラム

当科病床数	研修期間	連携施設数	医師数	指導医数	募集定員	入職実績（'22~'24実績）	入局
—	4年	7施設	43名	14名	14名	19名	要

サブスペ：集中治療　心臓血管麻酔　ペインクリニック

連携施設：獨協医科大学病院、獨協医科大学日光医療センター、埼玉県立小児医療センター、北海道大学病院 等

埼玉県東部の基幹専門研修病院として、幅広く症例が集まっており、専攻医が経験目標に必要な特殊麻酔症例を、指導医とともに早い段階から経験できることが特徴である。

年収・月収例：—
外来患者数：33人／日　入院患者数：—人／日

Map19／さいたま

自治医科大学附属さいたま医療センター

自治医科大学附属さいたま医療センター 麻酔科専門研修プログラム

当科病床数	研修期間	連携施設数	医師数	指導医数	募集定員	入職実績（'22~'24実績）	入局
—	4年	11施設	34名	8名	8名	15名	自由

サブスペ：集中治療　心臓血管麻酔　ペインクリニック

連携施設：埼玉県立小児医療センター、さいたま赤十字病院、自治医科大学附属病院 等

心臓血管手術、呼吸器外科手術が多く、重症患者の麻酔を多数経験可能。独立型ICUを併設し、機械的補助循環を要する重症患者の全身管理等も学べます。小児麻酔、産科麻酔、ペインクリニック、緩和ケアの研修も可能です。

年収・月収例：専攻医1年目：約34万／月＋時間外手当＋賞与 約132万／年
外来患者数：18.9人／日　入院患者数：—人／日

Map⑳／さいたま

さいたま市立病院

さいたま市立病院麻酔科専門研修プログラム

当科病床数	研修期間	連携施設数	医師数	指導医数	募集定員	入職実績（'22~'24実績）	入局
—	4年	9施設	12名	6名	3名	6名	—

サブスペ：集中治療　心臓血管麻酔　ペインクリニック

連携施設：慶應義塾大学病院、埼玉医科大学総合医療センター、埼玉医科大学国際医療センター 等

手術内容はあらゆる診療科・部位・年齢にわたっており、偏りなく麻酔研修を行うことができます。特に新生児手術、ハイリスク帝王切開、3次救急を含む緊急手術、多様な神経ブロックの習得などに優れています。

年収・月収例：専攻医1年目：約61万／月　別途賞与、諸手当支給あり

外来患者数：一人／日　入院患者数：一人／日

Map㉒／さいたま

さいたま赤十字病院

さいたま赤十字病院 麻酔科専門研修プログラム

当科病床数	研修期間	連携施設数	医師数	指導医数	募集定員	入職実績（'22~'24実績）	入局
—	4年	2施設	13名	6名	4名	4名	不要

サブスペ：集中治療　心臓血管麻酔　ペインクリニック

連携施設：東京大学医学部附属病院、埼玉県立小児医療センター

当院は高度救命救急センター、総合周産期母子医療センター等に指定され、また33の診療科から構成される為、症例が多く揃う。また小児症例は隣接する埼玉県立小児医療センターで専門的な経験を積むことができる。

年収・月収例：HP参照

外来患者数：19.7人／日　入院患者数：一人／日

Map㉘／県央

上尾中央総合病院

AMG上尾中央総合病院 麻酔科専門研修プログラム

当科病床数	研修期間	連携施設数	医師数	指導医数	募集定員	入職実績（'22~'24実績）	入局
—	4年	4施設	14名	6名	2名	1名	不要

サブスペ：集中治療　心臓血管麻酔　ペインクリニック

連携施設：帝京大学医学部附属病院、日本大学医学部附属板橋病院、日本大学病院、順天堂大学医学部附属順天堂医院、東京都立荏原病院

年間5,000件以上の麻酔管理件数があり、その中でチーム医療を学ぶことができます。専攻医のペースに合わせ、指導医が連携を取り研修を進めていきます。大学病院との連携のメリットを活用しながら研修することができ、専門医として基礎となる要素を身に付けることができる環境です。

年収・月収例：1年目：66万／月※別途当直手当・時間外手当

外来患者数：一人／日　入院患者数：一人／日

Map㉙／県央

北里大学メディカルセンター

北里大学メディカルセンター 麻酔科専門研修プログラム

当科病床数	研修期間	連携施設数	医師数	指導医数	募集定員	入職実績（'22~'24実績）	入局
—	4年	4施設	7名	2名	1名	1名	不要

サブスペ：集中治療　心臓血管麻酔　ペインクリニック

連携施設：北里大学病院、埼玉医科大学総合医療センター 等

麻酔科専門医を育成することを目的に、地域の麻酔診療を維持すべく十分な知識・技術・態度を学びます。埼玉県内の高次病院と連携しており県内病院の特徴や考え方の違いを学ぶことができます。

年収・月収例：—

外来患者数：1人／日　入院患者数：一人／日

Map㉜／川越比企

埼玉医科大学総合医療センター

埼玉医科大学総合医療センター 麻酔科専門研修プログラム

当科病床数	研修期間	連携施設数	医師数	指導医数	募集定員	入職実績（'22~'24実績）	入局
—	4年	14施設	41名	12名	—	7名	要

サブスペ：集中治療　心臓血管麻酔　ペインクリニック

連携施設：—

十分な手術室麻酔に加えて、麻酔科医が管理するICUや周産期の全身管理が学べる産科麻酔、ペインクリニックといった研修部門がある。また研究活動も積極的に行っていて、麻酔科領域の研修をほぼ網羅できる。

年収・月収例：—

外来患者数：20人／日　入院患者数：一人／日

Map㉞／川越比企

埼玉医科大学病院

埼玉医科大学病院麻酔科専門研修プログラム

当科病床数	研修期間	連携施設数	医師数	指導医数	募集定員	入職実績（'22~'24実績）	入局
—	4年	13施設	15名	10名	8名	1名	要

サブスペ：集中治療　心臓血管麻酔　ペインクリニック

連携施設：HP参照

当プログラムは、埼玉医大病院を責任基幹施設として、多岐な分野にわたり豊富な症例数を有する病院群を形成しています。その目標は、患者様には最良の診療効果、研修者には最良の研修効果を得ることにあります。

年収・月収例：—

外来患者数：12人／日　入院患者数：一人／日

Map㊱／西部

埼玉医科大学国際医療センター

埼玉医科大学国際医療センター 麻酔科専門研修プログラム

当科病床数	研修期間	連携施設数	医師数	指導医数	募集定員	入職実績（'22~'24実績）	入局
—	4年	10施設	19名	9名	5名	3名	自由

サブスペ：集中治療　心臓血管麻酔　ペインクリニック

連携施設：埼玉医科大学病院、埼玉医科大学総合医療センター、東京都立小児総合医療センター 等

心臓血管麻酔（小児含む）や救急手術などの重症麻酔管理について研修する機会を持つことができます。また、集中治療やペインクリニックは近くの連携病院で研修を行い、個人の興味のある分野の研修を尊重します。

年収・月収例：—

外来患者数：一人／日　入院患者数：一人／日

病　理

※掲載しているデータは2024年9月に収集したものです。データを開示しない項目には、「—」と表示しています。
※Mapは、裏表紙をご参照ください。Map上に番号で各病院の所在地を示しています。

Map④／南部

戸田中央総合病院

戸田中央総合病院病理専門研修プログラム

当科病床数	研修期間	連携施設数	医師数	指導医数	募集定員	入職実績（'22~'24実績）	入局
—	3年	8施設	1名	1名	1名	—	—

サブスペ：細胞診

連携施設：東京医科大学病院 等

本専門研修プログラムでは、病理診断に必要な知識、技能の習得はもちろんのこと、他の臨床医や他職種とのコミュニケーションがとれる人間性・態度を身につけることを目標としています。

年収・月収例：専攻医1年目：約700万／年

外来患者数：一人／日　入院患者数：一人／日

Map⑬／東部

獨協医科大学埼玉医療センター

獨協医科大学埼玉医療センター 病理専門研修プログラム

当科病床数	研修期間	連携施設数	医師数	指導医数	募集定員	入職実績（'22~'24実績）	入局
—	3年	7施設	7名	6名	1名	—	要

サブスペ：細胞診

連携施設：済生会川口総合病院、春日部市立医療センター、自治医科大学附属さいたま医療センター、がん研究会有明病院、国立がん研究センター中央病院 等

基幹施設である獨協医科大学埼玉医療センター病理診断科と近隣の連携施設を主体としたプログラムですが、他の大学病院やがん専門病院との連携も始まり、小規模ながら複数の指導医のもとで充実した研修環境を提供します。

年収・月収例：—

外来患者数：一人／日　入院患者数：一人／日

Map⑲／さいたま

自治医科大学附属さいたま医療センター

地域総合病理医育成を目指した自治医科大学附属さいたま医療センター病理専門研修プログラム

当科病床数	研修期間	連携施設数	医師数	指導医数	募集定員	入職実績（'22~'24実績）	入局
—	3年	7施設	5名	3名	—	3名	—

サブスペ：細胞診

連携施設：さいたま赤十字病院、獨協医科大学埼玉医療センター、上尾中央総合病院 等

豊富な症例の集まる施設での専門研修を通して、万全の指導体制下で高い診断能力が無理なく身に付くプログラムを用意しています。気概に満ちた専攻医の応募をお待ちしております。

年収・月収例：専攻医1年目：約34万／月＋時間外手当＋賞与 約132万／年

外来患者数：一人／日　入院患者数：一人／日

Map㉜／川越比企

埼玉医科大学総合医療センター

埼玉医科大学総合医療センター 病理専門研修プログラム

当科病床数	研修期間	連携施設数	医師数	指導医数	募集定員	入職実績（'22~'24実績）	入局
—	3年	8施設	15名	4名	1名	—	要

サブスペ：細胞診

連携施設：—

充実した指導体制の下、偏りが少なく豊富な症例の病理診断を経験することが可能です。不足の懸念される病理解剖では、専攻医への優先的な割り当てや連携施設の協力により、十分な症例数を確保しています。

年収・月収例：—

外来患者数：一人／日　入院患者数：一人／日

Map㉞／川越比企

埼玉医科大学病院

埼玉医科大学病院病理専門研修プログラム

当科病床数	研修期間	連携施設数	医師数	指導医数	募集定員	入職実績（'22~'24実績）	入局
—	3年	6施設	6名	2名	1名	—	要

サブスペ：細胞診

連携施設：HP参照

包括的がんセンターを擁する埼玉医科大学国際医療センターなど組織診断が年間約1万件の大規模病院と複数連携しており、各地域の中核病院等とも連携することで豊富な症例を経験できる環境が整っています。

年収・月収例：—

外来患者数：一人／日　入院患者数：一人／日

Map㊱／西部

埼玉医科大学国際医療センター

埼玉医科大学国際医療センター 病理専門研修プログラム

当科病床数	研修期間	連携施設数	医師数	指導医数	募集定員	入職実績（'22~'24実績）	入局
—	3年	4施設	9名	6名	1名	1名	要

サブスペ：細胞診

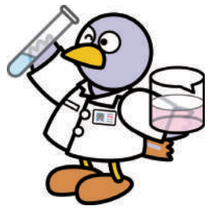
連携施設：埼玉医科大学病院、埼玉医科大学総合医療センター 等

国C病理診断科には幾つかの分野の腫瘍病理エキスパートが席を置くが、毛呂山および川越の病理スタッフを合体するとAll埼医大が誇る陣容は他に類がない。病理専門医を目指すに過不足のない環境が整っている。

年収・月収例：—

外来患者数：一人／日　入院患者数：一人／日

臨床検査



※掲載しているデータは2024年9月に収集したものです。データを開示しない項目には、「—」と表示しています。
※Mapは、裏表紙をご参照ください。Map上に番号で各病院の所在地を示しています。

Map13／東部

獨協医科大学埼玉医療センター

獨協医科大学埼玉医療センター 臨床検査専門研修プログラム

当科病床数	研修期間	連携施設数	医師数	指導医数	募集定員	入職実績（'22~'24実績）	入局
—	3年	1施設	3名	3名	1名	—	要

サブスペ：感染症

連携施設：獨協医科大学病院

検査部は通常診療を行いませんが、当科は感染症診療、検査を行っています。マラリアなど熱帯病検査に充実しており、渡航外来・帰国外来・HIV検査・ICT・AST活動も行っています。感染症専門医の習得も可能です。

年収・月収例：—

外来患者数：—人／日　入院患者数：—人／日

Map34／川越比企

埼玉医科大学病院

埼玉医科大学臨床検査専門研修プログラム

当科病床数	研修期間	連携施設数	医師数	指導医数	募集定員	入職実績（'22~'24実績）	入局
—	3年	6施設	3名	1名	1名	—	要

サブスペ：感染症

連携施設：—

検査には様々な分野があります。すでに専門領域を持っている医師にとっても、その領域を中心として多様な検査を習得し、医師としての幅を広げるのに役立つと思います。

年収・月収例：—

外来患者数：—人／日　入院患者数：—人／日

救急科

※掲載しているデータは2024年9月に収集したものです。データを開示しない項目には、「—」と表示しています。
※Mapは、裏表紙をご参照ください。Map上に番号で各病院の所在地を示しています。
※患者数は、当科の患者数を記載しています。

Map3／南部

川口市立医療センター

川口市立医療センター 救急科専門研修プログラム

当科病床数	研修期間	連携施設数	医師数	指導医数	募集定員	入職実績（'22~'24実績）	入局
8床	3年	2施設	7名	2名	2名	—	—

サブスペ：外傷

連携施設：日本医科大学付属病院、埼玉医科大学総合医療センター

埼玉県南部保健医療圏の救命救急センターとして、地域の重症患者を集約しています。年間1,000例程度の3次救急患者を経験でき、特に重症外傷症例を多く経験できます。

年収・月収例：—

外来患者数：12人／日　入院患者数：45.5人／日

Map7／南西部

国立病院機構埼玉病院

国立病院機構埼玉病院 救急科専門研修プログラム

当科病床数	研修期間	連携施設数	医師数	指導医数	募集定員	入職実績（'22~'24実績）	入局
24床	3年	10施設	5名	3名	3名	1名	不要

サブスペ：集中治療、脳卒中、消化器内視鏡、脳血管内治療

連携施設：—

一次から三次救急の幅広い患者を対応することで、多様な症例について学べます。その症例を入院後も担当し指導医と振り返り、レクチャーを受けることでより充実した経験となるでしょう。学会発表にも挑戦してください。

年収・月収例：専攻医1年目：47.6万／月

外来患者数：48人／日　入院患者数：19人／日

Map13／東部

獨協医科大学埼玉医療センター

獨協医科大学埼玉医療センター 救急科専門研修プログラム

当科病床数	研修期間	連携施設数	医師数	指導医数	募集定員	入職実績（'22~'24実績）	入局
34床	3年	14施設	15名	8名	4名	8名	要

サブスペ：集中治療、熱傷、外傷、消化器内視鏡

連携施設：東埼玉総合病院、埼玉県済生会加須病院、草加市立病院、新久喜総合病院、さいたま市立病院、深谷赤十字病院 等

地域のニーズに合わせて、良質で安心できる標準的救急医療が提供できる専門医育成を目指しています。2次・3次救急医療の対応に加え、個々が希望するサブスペシャルティ領域のトレーニングも実践できます。昨年度実績：3次救急対応1,327件、入院患者数874名

年収・月収例：—

外来患者数：—人／日　入院患者数：27人／日

Map19／さいたま

自治医科大学附属さいたま医療センター

自治医科大学附属さいたま医療センター 救急科専門研修プログラム

当科病床数	研修期間	連携施設数	医師数	指導医数	募集定員	入職実績（'22~'24実績）	入局
30床	3年	13施設	15名	6名	4名	8名	自由

サブスペ：集中治療、熱傷、外傷、脳卒中、消化器内視鏡、脳血管内治療、感染症

連携施設：さいたま市民医療センター、さいたま赤十字病院、八戸市立病院、大阪府済生会千里病院 等

Walk-inから重症の3次救急まで、すべての症例の経験とその後の病棟での管理を学べます。症例の振り返り、レクチャー、世界最新の情報をスタッフが事細かに情報提供します。ドクターカーにも挑戦してください。

年収・月収例：専攻医1年目：約34万／月＋時間外手当＋賞与 約132万／年

外来患者数：27.4人／日　入院患者数：29.5人／日

Map20／さいたま

さいたま市立病院

さいたま市立病院救急科専門研修プログラム

当科病床数	研修期間	連携施設数	医師数	指導医数	募集定員	入職実績（'22~'24実績）	入局
20床	3年	5施設	5名	3名	2名	1名	—

サブスペ：集中治療、外傷、脳卒中、消化器内視鏡、感染症

連携施設：日本医科大学付属病院、自治医科大学附属さいたま医療センター、さいたま赤十字病院、獨協医科大学埼玉医療センター、川口市立医療センター

初療から入院管理まで、一貫して重症患者の診療に従事することができます。規模が大きすぎない分、じっくり腰を据えて患者さんに向き合えるでしょう。臨床はもちろん、学会・研究活動も積極的に支援します。

年収・月収例：専攻医1年目：約61万／月　別途賞与、諸手当支給あり

外来患者数：5人／日　入院患者数：18人／日

Map22／さいたま

さいたま赤十字病院

さいたま赤十字病院救急科専門研修プログラム

当科病床数	研修期間	連携施設数	医師数	指導医数	募集定員	入職実績（'22~'24実績）	入局
52床	3年	26施設	37名	18名	5名	11名	不要

サブスペ：集中治療、熱傷、外傷

連携施設：東京大学医学部附属病院、帝京大学医学部附属病院、埼玉県立小児医療センター、彩の国東大宮メディカルセンター、前橋赤十字病院 等

高度救命救急センターや重度外傷センターに指定され、365日24時間運用のドクターカー診療をしているため、必要症例が多く揃う。専攻医は毎年入職しており、指導医もベテランから若手が在籍している。

年収・月収例：HP参照

外来患者数：11.6人／日　入院患者数：52人／日

Map32／川越比企

埼玉医科大学総合医療センター

埼玉医科大学総合医療センター 救急科専門研修プログラム

当科病床数	研修期間	連携施設数	医師数	指導医数	募集定員	入職実績（'22~'24実績）	入局
68床	3年	8施設	26名	13名	6名	2名	要

サブスペ：集中治療、熱傷、外傷、脳卒中、消化器内視鏡、脳血管内治療、感染症

連携施設：—

当院の救急医療は救急科（ER）と高度救命救急センターが担っており、初療から入院後の手術も含めた治療、術後管理、患者管理、後方病床診療、退院・退院後までの一連の経過をみることができます。

年収・月収例：—

外来患者数：—人／日　入院患者数：—人／日

Map34／川越比企

埼玉医科大学病院

埼玉医科大学病院救急科専門医研修プログラム

当科病床数	研修期間	連携施設数	医師数	指導医数	募集定員	入職実績（'22~'24実績）	入局
10床	3年	5施設	5名	4名	3名	1名	要

サブスペ：集中治療、外傷、感染症、緩和医療

連携施設：HP参照

救急センター・中毒センター、集中治療室、一般病棟が備わっており、広域からの急性中毒患者の受け入れ、および緩和医療科との連携によるロコモ患者・フレイル患者を地域医療につなぐ取り組みが大きな特徴です。

年収・月収例：—

外来患者数：7人／日　入院患者数：16人／日

Map35／西部

埼玉石心会病院

埼玉石心会病院救急科専門研修プログラム

当科病床数	研修期間	連携施設数	医師数	指導医数	募集定員	入職実績（'22~'24実績）	入局
—	3年	12施設	5名	4名	3名	2名	—

サブスペ：集中治療、消化器内視鏡

連携施設：埼玉医科大学病院、自治医科大学附属さいたま医療センター、聖マリアンナ医科大学病院、福井大学医学部附属病院、東京ベイ・浦安市川医療センター、湘南鎌倉総合病院、国立常陸医療研究センター、伊東市民病院、秋父病院、川崎市病院、さいたま赤十字病院、埼玉医科大学総合医療センター

2023年4月より救急科専門研修基幹プログラムを開始しました。「地域住民に救急医療へのアクセスを保障し、良質で安心な標準的医療を提供できる」救急科専門医を育成することを目的としたプログラムです。

年収・月収例：専攻医1年目：832万／年

外来患者数：62人／日　入院患者数：—人／日

Map36／西部

埼玉医科大学国際医療センター

埼玉医科大学国際医療センター 救急科専門医研修プログラム

当科病床数	研修期間	連携施設数	医師数	指導医数	募集定員	入職実績（'22~'24実績）	入局
59床	3年	4施設	15名	4名	4名	1名	推奨

サブスペ：集中治療、熱傷、外傷、脳卒中、消化器内視鏡、脳血管内治療、感染症、緩和医療

連携施設：埼玉医科大学病院、秩父病院、関越病院 等

初期、二次、三次救急の初期診療から緊急処置、手術、集中治療、リハビリテーション及び退院後の外来診療まで一貫して研修できる。また、ドクターカー運用も実施しており、病院前救急診療も研修可能である。

年収・月収例：—

外来患者数：15人／日　入院患者数：45人／日

Map40／利根

埼玉県済生会加須病院

埼玉県済生会加須病院 救急科専門研修プログラム

当科病床数	研修期間	連携施設数	医師数	指導医数	募集定員	入職実績（'22~'24実績）	入局
13床	3年	6施設	3名	2名	2名	—	不要

サブスペ：脳卒中、消化器内視鏡

連携施設：獨協医科大学埼玉医療センター、さいたま赤十字病院、深谷赤十字病院 等

救命救急センターとして2次、3次救急を中心に内因性、外因性を問わず診療を行っています。また、救急医療のみならず集中治療管理も担い、重篤患者に対して初期対応から退院まで治療を行うことができます。

年収・月収例：専攻医3年目：900万／年

外来患者数：7人／日　入院患者数：18人／日

Map41／北部

深谷赤十字病院

深谷赤十字病院救急科専門医修練プログラム

当科病床数	研修期間	連携施設数	医師数	指導医数	募集定員	入職実績（'22~'24実績）	入局
16床	3年	4施設	7名	4名	2名	3名	自由

サブスペ：熱傷、外傷、脳卒中、消化器内視鏡、緩和医療

連携施設：東京大学病院、自治医科大学附属さいたま医療センター、埼玉医科大学総合医療センター、東京医科大学八王子医療センター

埼玉県北部に位置し、28の診療科が揃う三次救命救急病院です。内因性（循環器系・中枢神経系・消化器系が多い）・小児救急・外因性（多発外傷・中毒・動物刺咬が多い）の全てに対応しています。

年収・月収例：専攻医1年目：900万／年

外来患者数：5人／日　入院患者数：31人／日

形成外科

※掲載しているデータは2024年9月に収集したものです。データを開示しない項目には、「—」と表示しています。
※Mapは、裏表紙をご参照ください。Map上に番号で各病院の所在地を示しています。
※患者数は、当科の患者数を記載しています。

Map⑲／さいたま

自治医科大学附属
さいたま医療センター

自治医科大学さいたま医療センター 形成外科プログラム

当科病床数	研修期間	連携施設数	医師数	指導医数	募集定員	入職実績（'22～'24実績）	入局
10床	4年	10施設	7名	2名	2名	5名	要

サブスペ：手外科／熱傷／美容外科／創傷外科

連携施設：自治医科大学附属病院、新座志木中央総合病院、帝京大学医学部附属病院、新久喜総合病院 等

当科は外傷、難治性潰瘍・足壊疽、頭頸部再建などの幅広い疾患を経験することができます。連携施設ではより一般的な体表腫瘍、外傷を経験します。代表的疾患は以下です。1.救急部と連携した外傷治療、2.足壊疽の救済治療、3.リンパ浮腫、4.悪性腫瘍術後の再建手術、5.その他　眼瞼下垂　ケロイド等

年収・月収例：専攻医1年目：約34万／月＋時間外手当＋賞与 約132万／年
外来患者数：25人／日　入院患者数：10人／日

Map㉗／さいたま

埼玉メディカル
センター

埼玉メディカルセンター 形成外科研修プログラム

当科病床数	研修期間	連携施設数	医師数	指導医数	募集定員	入職実績（'22～'24実績）	入局
10床	4年	19施設	4名	2名	3名	4名	要

サブスペ：乳房再建／難治性潰瘍／リンパ浮腫

連携施設：慶應義塾大学病院 等

基幹病院で乳房再建、外傷や重症虚血肢等の慢性創傷、眼瞼下垂など形成外科全般の疾患を経験する。また連携施設では、頭頸部再建、小児形成、リンパ浮腫治療、基礎研究等により専門的な分野での研鑽が可能である。

年収・月収例：専攻医3年目：約830万／年
外来患者数：28人／日　入院患者数：7人／日

Map㉜／川越比企

埼玉医科大学
総合医療センター

埼玉医科大学総合医療センター 形成外科専門研修プログラム

当科病床数	研修期間	連携施設数	医師数	指導医数	募集定員	入職実績（'22～'24実績）	入局
18床	4年	18施設	10名	3名	4名	5名	要

サブスペ：手外科／熱傷／美容外科

連携施設：—

当センターは高度救命救急センター、総合周産期母子医療センターを附属する基幹病院であり、外傷、先天奇形、乳房再建、リンパ浮腫に対する手術をはじめ、18の施設と連携し、幅広い疾患が経験可能です。

年収・月収例：—
外来患者数：30人／日　入院患者数：19人／日

Map㉞／川越比企

埼玉医科大学病院

埼玉医科大学病院 形成外科専門研修プログラム

当科病床数	研修期間	連携施設数	医師数	指導医数	募集定員	入職実績（'22～'24実績）	入局
40床	4年	12施設	18名	3名	4名	13名	要

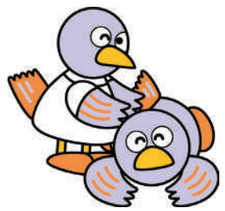
サブスペ：手外科／熱傷／美容外科

連携施設：HP参照

関東圏の大学病院・一般病棟と連携しており、創傷外科、頭蓋顎顔面外科、皮膚腫瘍外科、小児形成外科、マイクロ再建外科等多彩な症例を経験することが可能です。

年収・月収例：—
外来患者数：26人／日　入院患者数：41人／日

リハビリテーション科



※掲載しているデータは2024年9月に収集したものです。データを開示しない項目には、「—」と表示しています。
※Mapは、裏表紙をご参照ください。Map上に番号で各病院の所在地を示しています。
※患者数は、当科の患者数を記載しています。
※「検査数等」には、年間統計の数値を記載しています。

Map⑦／南西部

国立病院機構埼玉
病院

国立病院機構埼玉病院 リハビリテーション科専門研修プログラム

当科病床数	研修期間	連携施設数	医師数	指導医数	募集定員	入職実績（'22～'24実績）	入局
—	3年	21施設	6名	2名	6名	14名	要

検査数等：筋電図：週6件、嚥下造影・内視鏡：週20件

連携施設：東京湾岸リハビリテーション病院、済生会東神奈川リハビリテーション病院 等

地域の基幹的急性期病院である当院を基幹とし、多数の特色ある関連研修施設がプログラムに含まれている。様々な疾患や病態の急性期から生活期までのすべての時期を網羅し、幅広い研修を行うことが可能である。

年収・月収例：専攻医1年目：47.6万／月
外来患者数：27人／日　入院患者数：—人／日

Map⑬／東部

獨協医科大学埼玉
医療センター

獨協医科大学埼玉医療センター リハビリテーション科専門研修プログラム

当科病床数	研修期間	連携施設数	医師数	指導医数	募集定員	入職実績（'22～'24実績）	入局
—	3年	13施設	3名	1名	4名	3名	要

検査数等：新患患者数は年間6,000名以上、ICUでの早期離床、心大血管外来集団、装具診、ボツリヌス毒素療法、嚥下造影検査 等

連携施設：埼玉みさと総合リハビリテーション病院、新越谷病院、埼玉県立循環器・呼吸器センター、埼玉医科大学病院、東京医科歯科大学病院、埼玉協同病院 等

近隣の大学病院、回復期施設が含まれます。当院はじめ急性期病院ではICUにおける超急性期リハビリテーション治療を、また小児から高齢者まで幅広い領域のリハビリテーション診察・処方を担当します。回復期施設では入院患者も受け持ちます。

年収・月収例：—
外来患者数：4人／日　入院患者数：—人／日

Map㉜／川越比企

埼玉医科大学
総合医療センター

埼玉医大川越地域 リハビリテーション専門研修プログラム

当科病床数	研修期間	連携施設数	医師数	指導医数	募集定員	入職実績（'22～'24実績）	入局
1床	3年	11施設	5名	2名	3名	3名	要

検査数等：—

連携施設：東京勤労者医療会東葛病院、埼玉医科大学病院、さいたま岩槻病院 等

高度救急医療から高い専門性を有する医療までをカバーしており、①脳卒中・外傷性脳損傷・脳腫瘍②脊髄損傷・脊髄疾患③骨関節疾患・多発外傷④小児疾患⑤神経筋疾患⑥切断⑦内部障害⑧その他（廃用症候群、がん、疼痛性疾患など）におけるリハビリテーションが研修可能。

年収・月収例：—
外来患者数：—人／日　入院患者数：—人／日

Map㉞／川越比企

埼玉医科大学病院

埼玉医科大学リハビリテーション科 専門医プログラム

当科病床数	研修期間	連携施設数	医師数	指導医数	募集定員	入職実績（'22～'24実績）	入局
—	3年	14施設	5名	3名	4名	7名	要

検査数等：嚥下造影：450件、ボトックス：80件

連携施設：埼玉医科大学国際医療センター、埼玉医科大学総合医療センター、若葉病院、光の家療育センター 等

急性期リハビリテーション病院での研修と回復期リハビリテーション病院での研修、そして重度心身障害児施設での研修など、各診療科と連携して多くの分野での研修が可能です。

年収・月収例：—
外来患者数：42人／日　入院患者数：—人／日

総合診療科

※掲載しているデータは2024年9月に収集したものです。データを開示しない項目には、「—」と表示しています。
※Mapは、裏表紙をご参照ください。Map上に番号で各病院の所在地を示しています。
※患者数は、当科の患者数を記載しています。
※「検査数等」には、年間統計の数値を記載しています。

Map❷／南部

埼玉協同病院

さいたま総合診療医・家庭医センター 埼玉協同病院総合診療医プログラム

当科病床数	研修期間	連携施設数	医師数	指導医数	募集定員	入職実績（'22～'24実績）	入局
90床	3年	8施設	3名	3名	2名	5名	—

検査数等：内科：外来延べ患者数40,420名、入院延べ患者数3,251名、小児科：外来延べ患者数17,056名、救急：搬送等の件数3,755件

連携施設：埼玉西協同病院、さいわい診療所、川口診療所 等

埼玉の各地域を土台にして、生涯をかけて総合診療医として研鑽を積める3年間の研修プログラムです。本研修PGは、医療生協の理念をもとに地域組合員とともに歩み、地域の健康の増進に貢献し、自ら目標を持ち学び続ける総合診療医を養成することを目指します。

年収・月収例：専攻医1年目：約45万／月（別途諸手当）
外来患者数：—人／日　入院患者数：—人／日

Map❺／南部

さいわい診療所

さいたま総合診療医・家庭医センター 総合診療医専門研修プログラム

当科病床数	研修期間	連携施設数	医師数	指導医数	募集定員	入職実績（'22～'24実績）	入局
—	3年	8施設	3名	1名	2名	3名	不要

検査数等：上部内視鏡：310件、往診管理数：105件、健診（協会けんぽ、事業所健診etc.）：3,400件

連携施設：埼玉協同病院、熊谷生協病院、川口診療所、おおみや診療所、秩父生協病院 等

埼玉県の各地域を土台にして、生涯をかけて総合診療医として研鑽を積める3年間の研修プログラムです。本研修PGは、医療生協の理念をもとに地域の医療生協組合員とともに歩み、地域の健康の増進に貢献し、自ら目標を持ち学び続ける総合診療医を養成することを目指します。

年収・月収例：専攻医3年目：1,000万／年
外来患者数：74.1人／日　入院患者数：—人／日

Map❼／南西部

国立病院機構埼玉
病院

国立病院機構埼玉病院 総合診療専門研修プログラム

当科病床数	研修期間	連携施設数	医師数	指導医数	募集定員	入職実績（'22～'24実績）	入局
30床	3年	8施設	3名	2名	2名	1名	不要

検査数等：肺炎：112件、感染症：93件、消化器疾患：64件、糖尿病：21件、その他：233件

連携施設：慶應義塾大学病院、獨協医科大学埼玉医療センター、南砺市民病院 等

当院総合診療科は、幅広い領域の外来入院診療を担当します。日々の症例カンファレンス、文献検索・抄読、学会発表他、多数の教育的機会を設けつつ、専攻医の自発的な研鑽をサポートします。社会的複雑事例に対応し、多職種連携・医療連携の実践・研鑽機会が豊富です。

年収・月収例：専攻医1年目：47.6万／月
外来患者数：24人／日　入院患者数：31人／日

Map⑬／東部

獨協医科大学埼玉
医療センター

獨協医科大学埼玉医療センター 総合診療科専門研修プログラム

当科病床数	研修期間	連携施設数	医師数	指導医数	募集定員	入職実績（'22～'24実績）	入局
—	3年	10施設	7名	3名	3名	1名	要

検査数等：新患者数：393名、再診患者数：5,294名

連携施設：春日部厚生病院、埼玉石心会病院、国立病院機構埼玉病院、鈴木内科医院、新潟県立十日町病院、国民健康保険町立八丈病院 等

プライマリケアや総合診療の修練を通して、幅広い対応力を身につけます。在宅医療や漢方診療も実践しております。

年収・月収例：—
外来患者数：23人／日　入院患者数：—人／日

Map⑭／東部

みさと健和病院

みさと健和病院総合診療専門研修プログラム

当科病床数	研修期間	連携施設数	医師数	指導医数	募集定員	入職実績（'22～'24実績）	入局
47床	3年	3施設	7名	1名	2名	—	不要

検査数等：初診外来件数：11,825件、救急車搬入数：2,088件、外科手術：333件、整形手術：369件

連携施設：柳原病院、東葛病院、秩父生協病院

基幹施設であるみさと健和病院で総診Ⅱ・内科・救急領域の研修を行い、同一法人の柳原病院で総診Ⅰの研修を行います。また、総診Ⅱ領域では外科・整形外科・緩和ケアなどの選択研修も可能です。

年収・月収例：専攻医1年目：856万／年
外来患者数：43人／日　入院患者数：40人／日

Map19／さいたま

自治医科大学附属さいたま医療センター

自治医科大学附属さいたま医療センター 総合診療専門研修プログラム

当科病床数	研修期間	連携施設数	医師数	指導医数	募集定員	入職実績（'22~'24実績）	入局
19床	3～4年	11施設	10名	7名	2名	—	要

検査数等：救急車搬送件数：8,904件

連携施設：さいたま市民医療センター、秩父市立病院、南魚沼市民病院 等

地域においては家庭医として、地域中核病院では病院勤務の地域総合医として、総合病院においては病院総合医としての役割を担うことができる足腰の強い総合診療専門医を養成する研修です。

年収・月収例：専攻医1年目：約34万／月＋時間外手当＋賞与 約132万／年

外来患者数 35.7人／日　入院患者数 16.5人／日

Map25／さいたま

さいたま市民医療センター

さいたま市民医療センター 総合診療専門研修プログラム

当科病床数	研修期間	連携施設数	医師数	指導医数	募集定員	入職実績（'22~'24実績）	入局
188床	3年	7施設	31名	2名	2名	2名	—

検査数等：GF：1,855件、CF：1,892件、血管造影：708件、心臓エコー：2,921件

連携施設：—

日本プライマリ・ケア連合学会　新家庭医療専門医プログラムを有しており、首都圏の政令指定都市で救急総合診療科を中心に、へき地医療、在宅医療などを学び、修了後には総合診療専門医の受験資格が与えられます。

年収・月収例：専攻医1年目：770万／年

外来患者数 151人／日　入院患者数 162人／日

Map28／県央

上尾中央総合病院

AMG上尾中央総合病院 総合診療専門研修プログラム

当科病床数	研修期間	連携施設数	医師数	指導医数	募集定員	入職実績（'22~'24実績）	入局
43床	3年	9施設	7名	1名	2名	2名	不要

検査数等：—

連携施設：JCHOさいたま北部医療センター 等

病院などで必要とされる高い診断・治療能力を持つ総合診療専門医を養成し、ER型救急や急性期専門各科を有する地域拠点病院のなかで、自らのキャリアパスや地域医療に携わる実力を身につけていくことを目的としています。

年収・月収例：1年目：66万／月※別途当直手当・時間外手当

外来患者数 21人／日　入院患者数 50人／日

Map33／川越比企

関越病院

関越病院 総合診療専門医育成専門研修プログラム

当科病床数	研修期間	連携施設数	医師数	指導医数	募集定員	入職実績（'22~'24実績）	入局
97床	3年	6施設	7名	4名	2名	5名	要

検査数等：心不全：193件、肺炎等：152件、狭心症・慢性虚血性心疾患：134件、股関節・大腿近位の骨折：126件、胆管結石・胆管炎：89件、鼠経ヘルニア：87件、結腸の悪性腫瘍：79件 等

連携施設：鶴ヶ島在宅医療診療所、秩父病院、秩父市立病院、山口病院、小川産婦人科・小児科

埼玉県鶴ヶ島市において、多岐にわたる疾患を抱えた患者様を対応する事により、総合診療能力を研鑽できるプログラムとなっております。周辺の医療機関との協力や、入院から退院、退院してからのマネジメントについても研修します。

年収・月収例：専攻医1年目：850万／年

外来患者数 214人／日　入院患者数 19人／日

Map34／川越比企

埼玉医科大学病院

埼玉医科大学総合診療専門医育成プログラム

当科病床数	研修期間	連携施設数	医師数	指導医数	募集定員	入職実績（'22~'24実績）	入局
45床	3年	14施設	28名	10名	6名	6名	要

検査数等：初診患者数：3,151名、新入院患者数：1,603名

連携施設：HP参照

特徴として初期診療、特に外来診療、救急診療を中心としたプライマリ・ケアだけでなく鑑別診断、治療戦略を含めた全身管理、病棟診療をもマスターできるプログラムです。熱意ある指導医が多数います。

年収・月収例：—

外来患者数 60人／日　入院患者数 46人／日

Map35／西部

埼玉石心会病院

埼玉石心会病院総合診療専門研修プログラム

当科病床数	研修期間	連携施設数	医師数	指導医数	募集定員	入職実績（'22~'24実績）	入局
44床	3年	8施設	3名	3名	2名	2名	—

検査数等：—

連携施設：済生会川口総合病院、熊谷生協病院、秩父生協病院、さいわい診療所、おおみや診療所、知床らうす国民健康保険診療所、宮古島徳洲会病院、さいたま市民医療センター

ジェネラリストの視点を大切にしながら、地域医療のスペシャリストを目指す！臓器にとらわれないジェネラリストの視点とバランス感覚、入院初療から退院まで一貫したマネジメント力、退院後のケアや患者家族の心情まで配慮できる「主治医としての総合力」。各自の専門性を発揮しながらチーム医療を実践しています。

年収・月収例：専攻医1年目：832万／年

外来患者数 一人／日　入院患者数 47人／日

Map38／利根

羽生総合病院

羽生総合病院総合診療専門研修プログラム

当科病床数	研修期間	連携施設数	医師数	指導医数	募集定員	入職実績（'22~'24実績）	入局
70床	3年	13施設	1名	1名	1名	—	不要

検査数等：救急受け入れ件数：約4,500件

連携施設：千葉西総合病院、湘南藤沢徳洲会病院、徳之島徳洲会病院 等

地元の救急車受け入れ98%以上です。地域医療に根ざしたプライマリケアを実践できます。

年収・月収例：専攻医3年目：900万／年

外来患者数 13人／日　入院患者数 26人／日

Map41／北部

深谷赤十字病院

深谷赤十字病院総合診療専門研修プログラム

当科病床数	研修期間	連携施設数	医師数	指導医数	募集定員	入職実績（'22~'24実績）	入局
—	3年	4施設	1名	2名	1名	—	自由

検査数等：—

連携施設：小鹿野中央病院、大塚医院ファミリークリニック

埼玉県北部に位置し、28の診療科が揃い、併存疾患の患者への対応も科を超えて対応・相談することができます。地域支援病院として病診連携に力を入れて総合的な視点で学ぶことができます。

年収・月収例：専攻医1年目：750万／年

外来患者数 一人／日　入院患者数 一人／日

Map42／北部

熊谷生協病院

熊谷生協病院総合診療医プログラム

当科病床数	研修期間	連携施設数	医師数	指導医数	募集定員	入職実績（'22~'24実績）	入局
105床	3年	1施設	3名	2名	2名	—	—

検査数等：呼吸器疾患：100件、感染症疾患：50件、上部内視鏡：1,000件

連携施設：埼玉協同病院

赤ちゃんから高齢者まで地域の健康問題に対応できる総合診療医を育成します。

年収・月収例：—

外来患者数 98人／日　入院患者数 82人／日

Map43／秩父

秩父市立病院

総合診療専門医養成プログラム「ちちぶ」

当科病床数	研修期間	連携施設数	医師数	指導医数	募集定員	入職実績（'22~'24実績）	入局
165床（全科）	3年	10施設	2名	3名	2名	2名	不要

検査数等：二次救急輪番制病院／R5年度：救急車1,958件、急患受診者数3,216人

連携施設：秩父病院、小鹿野中央病院、皆野病院、秩父生協病院、南須原医院、市内診療所 等

都心から程近い埼玉県で山間地域の地域医療を医療圏全体という広い視野と多角的な視点で学べる市町村を超えた広域連携型のプログラムです。様々な医療機関に在籍することで、それぞれの立場からの地域医療を体験しつつ、一貫した身分での総合診療教育と保障を受けることができます。

年収・月収例：専攻医1年目：約50万／月（別途諸手当）＋賞与約180万／年

外来患者数 20人／日　入院患者数 15人／日

Column

埼玉県ってどんなところ？

伝統的文化や自然がたくさん！
埼玉県の観光スポットを紹介いたします。

写真提供：（一社）埼玉県物産観光協会

鉄道博物館

鉄道博物館は、JR東日本創立20周年記念事業のメインプロジェクトとして、2007（平成19）年10月14日、さいたま市大宮に開館しました。

2018（同30）年7月には新たに南館をオープンし、本館の常設展示も全面的にリニューアルしました。このリニューアルでは、館内を車両・歴史・仕事・科学・未来の5つのステーションに分け、多彩な切り口で人と鉄道の豊かな物語を展開する博物館へと生まれ変わりました。

川越氷川神社の縁むすび風鈴

川越氷川神社夏の祭事「縁むすび風鈴」。

7月上旬から9月上旬の境内には約2000個の江戸風鈴が飾られ、涼しげな音色を奏でます。

風鈴には願いごとを綴った木の短冊をお掛けください。風にのって氷川の神様へ思いが運ばれることでしょう。

また、夕方からは明かりが灯され、風鈴回廊や小川の幻想的な光景をお楽しみいただけます。

職人さん手作りの江戸風鈴や期間限定のお守りや御朱印、風鈴に見立てたカタチのお水などもご用意しております。

写真提供：川越氷川神社

写真提供：（一社）埼玉県物産観光協会

長瀞渓谷（長瀞岩畳）船下り

長瀞の荒川の船下りは、国の名勝及び天然記念物に指定された長瀞の岩畳の中を、ゆったりのんびりと、ときにはスリリングに、小さなお子様からお年寄りまで楽しめます。

船頭さんの楽しいガイドを聞きながら、春は桜を眺め、夏は涼風を求めて、秋は紅葉の渓谷美をめでながら、冬はコタツ船で温かく、それぞれの季節で長瀞の自然を満喫できます。

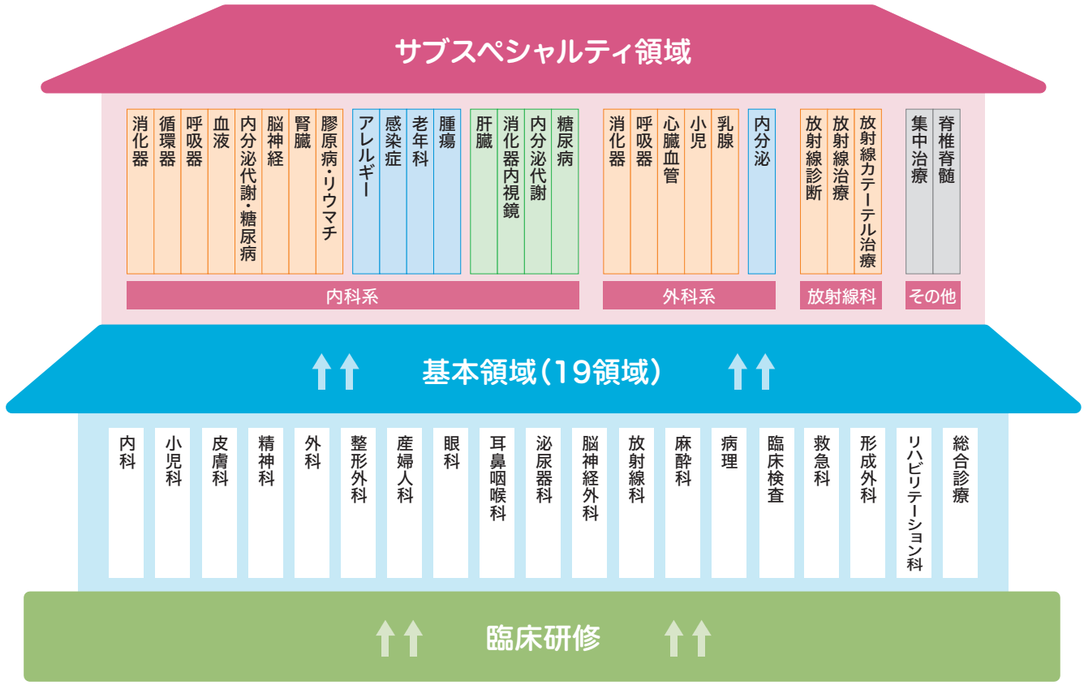
専門医制度を解説します！

埼玉県総合医局機構 KOBATON.med

コバトンドットメド 検索

専門医資格の認定基準を統一化し、国民に広く良質な医療を提供し、育成される医師のキャリア形成支援も重視すべく、2018年からスタートした新専門医制度。新専門医制度では、シーリング、サブスペシャルティや連動研修、プログラム制とカリキュラム制など、複雑な制度であるため、大枠を解説します。

専門医取得は２階建て構造！



サブスペシャルティの説明

…連動研修を行い得る領域　…連動研修を行わない領域

…少なくとも１つのサブスペシャルティ領域を取得した後に研修を行う領域　…未定

Q 埼玉県にもシーリングってあるの？

地域間・診療科間の医師偏在を解決するために、2019年度よりシーリング制度（専攻医の採用数の上限設定）が設けられました。なお、**埼玉県ではシーリングの対象となる基本領域はありません。**

この制度の考え方は、すでに必要医師数を確保できていると思われる都道府県・診療科にシーリング（限度）を設け、採用された一部の専攻医を医師不足の都道府県に派遣し研修させるというものです。

シーリング制度対象の13診療科

- 内科
- 小児科
- 泌尿器科
- 脳神経外科
- 整形外科
- 形成外科
- 耳鼻咽喉科
- 放射線科
- 皮膚科
- 精神科
- 麻酔科
- 眼科
- リハビリテーション科

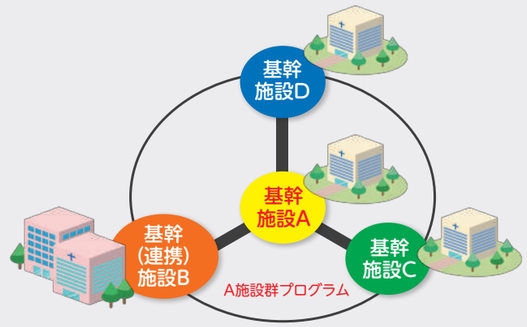
Q 研修プログラム制と研修カリキュラム制の違いは？

研修プログラム制

新専門医制度において、基本領域の専門研修は、原則、各学会及び日本専門医機構が認定するプログラム制での研修が求められています。

研修プログラム制とは、年次ごと（例えば3～5年間）に定められた研修プログラムに則って研修を行う仕組みで、【基幹施設】が【連携施設】と研修施設群を作り、専攻医は研修施設群の中で循環型の研修を行います。

連携施設の数に上限はありませんが、日本専門医機構の審査を経て判断されます。また、市中病院の基幹プログラムを大学病院が研修を補完する連携施設となることもあります。



専門研修施設群（基本型）

Q 連携先の研修中は所属先はどこになりますか？

A 専攻医の研修におけるプログラム上登録の所属は基幹施設となりますが、給与等は随時研修場所となる施設で支払われます。

Q 途中で研修を中断した場合はどうなりますか？

A 6か月までの中断であれば、残りの期間に必要な症例等を埋め合わせることで、研修期間の延長を要せず、修了可能です。逆に、定められた期限内に到達目標が達成できない場合には、年限を延長することも可能となります。

研修カリキュラム制

研修カリキュラム制は期限の定めを設けずに研修を受け、基準を充足した（必要な単位数を取得した）時点で専門医資格取得を可能とする仕組みのことです。出産、育児、介護等で一時休職しなければならない医師や、海外留学等で長期間、研修を中断しなければならない医師などにも専門医が取れるように設けられています。

研修カリキュラム制（単位制）の対象

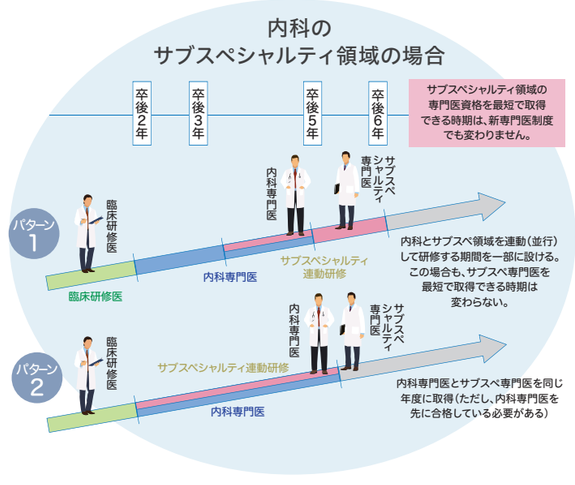
1. 義務年限を有する医科大学卒業生、地域医療従事者（地域枠医師等）
2. 出産、育児、介護等のライフイベントにより休職、離職を選択する医師
3. 海外・国内留学する医師
4. ダブルボートを希望する医師
5. その他領域学会と機構が認めた相当の合理的な理由がある場合

Q サブスペシャルティ領域研修と連動研修とは？

サブスペシャルティ領域専門研修は、「連動研修を行い得る領域」と「連動研修を行わない領域」と「少なくとも1つのサブスペシャルティ領域を修得した後に研修を行う領域」とに大別（左図参照）されます。

「連動研修を行い得る領域」では基本領域の研修期間中にサブスペシャルティ領域研修を開始し、並行して研修する連動研修が認められています。

サブスペシャルティ領域研修は、現時点では従来通りの各サブスペシャルティ領域学会の責任で研修カリキュラム制で行いますが、連動研修については基本領域の研修期間中に開始されるため研修プログラム制で行われます。



SAITAMA MAP

埼玉県マスコット
コバトン＆さいたまっち

1. **社会福祉法人恩賜財団済生会支部 埼玉県済生会川口総合病院**
   〒332-8558 川口市西川口5-11-5　TEL 0570-08-1551
2. **医療生協さいたま生活協同組合 埼玉協同病院**
   〒333-0831 川口市木曽呂1317　TEL 0570-00-4771
3. **川口市立医療センター**
   〒333-0833 川口市西新井宿180　TEL 048-287-2525
4. **医療法人社団東光会 戸田中央総合病院**
   〒335-0023 戸田市本町1-19-3　TEL 048-442-1111
5. **医療生協さいたま生活協同組合 さいわい診療所**
   〒332-0035 川口市西青木5-1-40　TEL 048-251-6002

6. **医療法人社団武蔵野会 TMGあさか医療センター**
   〒351-0023 朝霞市溝沼1340-1　TEL 0570-07-2055
7. **独立行政法人国立病院機構 埼玉病院**
   〒351-0102 和光市諏訪2-1　TEL 048-462-1101
8. **医療法人財団明理会 イムス富士見総合病院**
   〒354-0021 富士見市鶴馬1967-1　TEL 049-251-3060
9. **医療法人社団武蔵野会 新座志木中央総合病院**
   〒352-0001 新座市東北1-7-2　TEL 048-474-7211

10. **春日部市立医療センター**
    〒344-8588 春日部市中央6-7-1　TEL 048-735-1261
11. **順天堂大学医学部附属順天堂越谷病院**
    〒343-0032 越谷市袋山560　TEL 048-975-0321
12. **医療法人社団俊睿会 南埼玉病院**
    〒343-0012 越谷市増森252　TEL 048-965-1151
13. **獨協医科大学埼玉医療センター**
    〒343-8555 越谷市南越谷2-1-50　TEL 048-965-1111
14. **医療法人財団健和会 みさと健和病院**
    〒341-0035 三郷市鷹野4-494-1　TEL 048-955-7171
15. **草加市立病院**
    〒340-8560 草加市草加2-21-1　TEL 048-946-2200
16. **医療法人財団明理会 春日部中央総合病院**
    〒344-0063 春日部市緑町5-9-4　TEL 048-736-1222
17. **医療法人秀和会 秀和総合病院**
    〒344-0035 春日部市谷原新田1200　TEL 048-737-2121
18. **医療法人秀峰会 北辰病院**
    〒343-0851 越谷市七左町4-358　TEL 048-985-3333

19. **自治医科大学附属さいたま医療センター**
    〒330-8503 さいたま市大宮区天沼町1-847　TEL 048-647-2111
20. **さいたま市立病院**
    〒336-8522 さいたま市緑区三室2460　TEL 048-873-4111
21. **医療法人社団協友会 彩の国東大宮メディカルセンター**
    〒331-8577 さいたま市北区土呂町1522　TEL 048-665-6111
22. **さいたま赤十字病院**
    〒330-8553 さいたま市中央区新都心1-5　TEL 048-852-1111
23. **医療法人白翔会 浦和神経サナトリウム**
    〒336-0041 さいたま市南区広ヶ谷戸301-1　TEL 048-873-3115
24. **医療法人社団輔仁会 大宮厚生病院**
    〒337-0024 さいたま市見沼区片柳1　TEL 0570-050-038
25. **社会医療法人 さいたま市民医療センター**
    〒331-0054 さいたま市西区島根299-1　TEL 048-626-0011
26. **地方独立行政法人埼玉県立病院機構 埼玉県立小児医療センター**
    〒330-8777 さいたま市中央区新都心1-2　TEL 048-601-2200
27. **独立行政法人地域医療機能推進機構 埼玉メディカルセンター**
    〒330-0074 さいたま市浦和区北浦和4-9-3　TEL 048-832-4951

28. **医療法人社団愛友会 上尾中央総合病院**
    〒362-8588 上尾市柏座1-10-10　TEL 048-773-1111
29. **北里大学メディカルセンター**
    〒364-8501 北本市荒井6-100　TEL 048-593-1212
30. **地方独立行政法人埼玉県立病院機構 埼玉県立精神医療センター**
    〒362-0806 北足立郡伊奈町小室818-2　TEL 048-723-1111
31. **社会福祉法人恩賜財団済生会支部 埼玉県済生会鴻巣病院**
    〒365-0073 鴻巣市八幡田849　TEL 048-596-2221

32. **埼玉医科大学総合医療センター**
    〒350-8550 川越市鴨田1981　TEL 049-228-3411
33. **社会医療法人社団新都市医療研究会(関越)会 関越病院**
    〒350-2213 鶴ヶ島市脚折145-1　TEL 049-285-3161
34. **埼玉医科大学病院**
    〒350-0495 入間郡毛呂山町毛呂本郷38　TEL 049-276-1111

35. **社会医療法人財団石心会 埼玉石心会病院**
    〒350-1305 狭山市入間川2-37-20　TEL 04-2953-6611
36. **埼玉医科大学国際医療センター**
    〒350-1298 日高市山根1397-1　TEL 042-984-4111

37. **医療法人大壮会 久喜すずのき病院**
    〒346-0024 久喜市北青柳1366-1　TEL 0480-23-6540
38. **医療法人徳洲会 羽生総合病院**
    〒348-8505 羽生市下岩瀬446　TEL 048-562-3000
39. **社会医療法人社団埼玉巨樹の会 新久喜総合病院**
    〒346-8530 久喜市上早見418-1　TEL 0480-26-0033
40. **社会福祉法人恩賜財団済生会支部 埼玉県済生会加須病院**
    〒347-0101 加須市上高柳1680　TEL 0480-70-0888

41. **深谷赤十字病院**
    〒366-0052 深谷市上柴町西5-8-1　TEL 048-571-1511
42. **医療生協さいたま生活協同組合 熊谷生協病院**
    〒360-0012 熊谷市上之3854　TEL 048-524-3841

43. **秩父市立病院**
    〒368-0025 秩父市桜木町8-9　TEL 0494-23-0611

埼玉県専門研修プログラムガイドブック 2025

■編集・発行　2024年12月発行

埼玉県保健医療部医療人材課医師確保対策担当（地域医療教育センター）

〒330-8777 さいたま市中央区新都心1-2 埼玉県立小児医療センター南玄関8階
TEL：048（601）4600　FAX：048（601）4604　Email：a3560-03@pref.saitama.lg.jp
ホームページ：http://kobaton-med.jp/

専門研修に関する特設 WEB サイト

埼玉県専門研修プログラム Navi